

令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査

**NPO法人**

調査結果報告書

令和5年3月

神戸市



## 【目次】

<b>(1) 調査概要</b> .....	<b>1</b>
① 調査の目的.....	1
② 調査対象.....	1
③ 調査方法等.....	1
④ 調査の対象と回収状況 .....	1
⑤ 調査結果の表示方法 .....	1
<b>(2) 団体の活動</b> .....	<b>2</b>
① 主な活動分野（問2） .....	2
② 具体的な活動内容（問2） .....	3
③ 主な活動地域（問3） .....	8
④ 活動に携わっている人数（問4） .....	9
⑤ 活動に携わっている人の年齢の特徴（問5） .....	10
⑥ 事務局職員（スタッフ）（問6） .....	10
⑦ 主な収入源（問7） .....	11
⑧ 直近年度の決算の収益額の規模（問8） .....	11
⑨ 団体の活動頻度（問9） .....	12
<b>(3) 利用施設と集まりの開催状況</b> .....	<b>12</b>
① 定期的に利用している施設（問10） .....	12
② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問10） .....	13
③ 利用可能であれば新たに利用したいと考えている施設（問11） .....	13
<b>(4) デジタル技術の活用</b> .....	<b>15</b>
① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問14） .....	15
② デジタル技術活用のために市に求める支援（問15） .....	16
③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問16） .....	16
<b>(5) 他団体との連携</b> .....	<b>17</b>
① 他団体との連携の状況（問18） .....	17
② 他団体との連携にあたって発揮できる強み（問19） .....	18
③ 他団体と連携した取組事例（問20） .....	18
④ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問21） .....	19
<b>(6) 活動を進めていくための課題</b> .....	<b>20</b>
① コロナ禍による活動への影響（問12） .....	20
② コロナ禍での活動で苦労していること（問13） .....	21
③ 活動を進めていくための課題（人材面）（問17①） .....	22
④ 活動を進めていくための課題（運営面）（問17②） .....	22
⑤ 活動への利用者の参加状況の課題（問17③） .....	23
<b>(7) 今後の活動に向けて</b> .....	<b>23</b>
① 活動の現状についての満足度（問22） .....	23

② 団体が担う役割の今後についての考え（問23） .....	24
③ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問24） .....	24
④ NPO支援に関わる神戸市の取り組みの認知状況や利用状況（問26） .....	25
⑤ 市に相談したいことや支援を希望すること（問27） .....	26
<b>(8) 代表の活動状況 .....</b>	<b>26</b>
① 代表（回答者）の状況（問34） .....	26
② 代表の任期や定年の定め（問28） .....	27
③ 代表になってからの年数（問29） .....	28
④ 次期代表の育成の見通し（問30） .....	28
⑤ 活動を始めたきっかけ（問31） .....	29
⑥ 活動してよかったと思うこと（問32） .....	29
⑦ 団体の今後のあり方についての考え(問33) .....	30
<b>(9) 自由意見 .....</b>	<b>31</b>
① 新たな活動者の確保や運営での工夫（問25） .....	31
② コロナ禍において新たに取組んだこと（問25） .....	31

(資料) 調査票

## (1) 調査概要

### ① 調査の目的

神戸市では、おおむね3年ごとに、市内で活動されている地域組織のみなさまの活動実態及び課題などを把握するためアンケート調査を実施している。

前回の調査（令和元年度）以降、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、対面での活動が制限されたり、感染防止対策が必要となるなど、地域活動の実施にあたっては様々な工夫をされるとともに、様々な地域課題への対応や、デジタル技術の活用等、新たな取組にもチャレンジされていると考えられる。そこで、地域組織の活動に携わっている市民の取り組みや感じていることを把握し、今後の施策に活用する。

### ② 調査対象

下記の団体を対象とする。

	概要	備考
NPO法人	特定非営利活動促進法（NPO法）により法人格を付与された団体で、福祉、環境、まちづくり等さまざまな分野の社会貢献活動を行っている。	神戸市が認証しているNPO法人を対象とした。

### ③ 調査方法等

調査方法	調査対象団体の代表者に調査票を郵送配付し、郵送で回収した。
調査期間	令和4年10月11日（火）～11月11日（金）

### ④ 調査の対象と回収状況

	発送数	未着数	有効発送数	有効回収数	回収率
全市	747	31	715	298	41.7%
東灘区	95	2	93	37	39.8%
灘区	58	2	56	24	42.9%
中央区	196	15	181	58	32.0%
兵庫区	45	3	42	13	31.0%
北区	90	2	88	39	44.3%
長田区	67	1	66	28	42.4%
須磨区	54	1	53	18	34.0%
垂水区	74	3	71	37	52.1%
西区	68	2	66	35	53.0%
不明				9	

### ⑤ 調査結果の表示方法

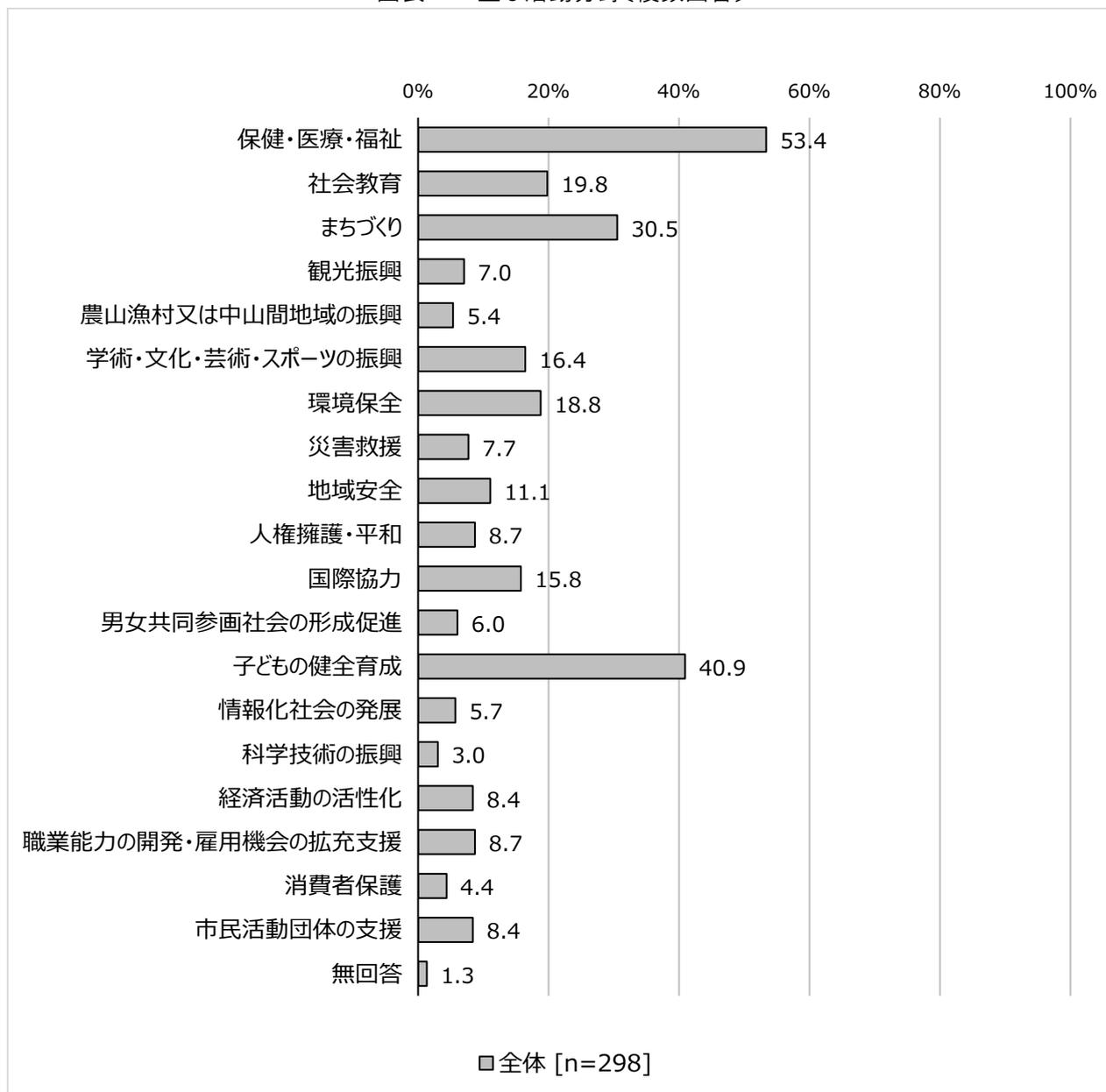
- ・比率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までの百分率（%）で表しています。このため、合計が100%にならない場合もあります。
- ・各設問のサンプルサイズは、“n=●”として記載しています。
- ・〔複数回答〕とある設問は、2つ以上の選択肢を回答することが可能な設問です。このため、各回答の合計比率が100%を超える場合があります。

## (2) 団体の活動

### ①主な活動分野（問2）

主な活動分野は、「保健・医療・福祉」が53.4%と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が40.9%、「まちづくり」が30.5%などとなっている。

図表 1 主な活動分野〔複数回答〕



## ②具体的な活動内容（問2）

具体的な活動内容として、次のような活動があげられた。

図表 2 具体的な活動内容

活動分野	具体的な活動内容（例）
保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生教育用絵本の出版</li> <li>・アグリセラピー講座</li> <li>・化粧品に対する正しい知識・使い方の教育</li> <li>・摂食障害や依存症当事者のつながり作り</li> <li>・酒害に悩む本人、家族の救済</li> <li>・市民の精神保健福祉の向上と共生社会の構築に関わる活動</li> <li>・医療支援、医療情報提供、医療相談</li> <li>・慢性疾患に関する情報提供と教育講座開催（糖尿病教室等）</li> <li>・難病患者会・家族会のサポート・情報発信</li> <li>・心臓病患者と家族に対する相談支援、医療相談会など</li> <li>・さい帯血の採取、保存、提供、及びその普及啓発</li> <li>・各病態別メニュー開発と提案（地域のレストラン等とコラボ）</li> <li>・イベントでの救護活動・応急手当て普及活動</li> <li>・訪問看護</li> <li>・ホームホスピス</li> <li>・ひとりぐらし、準ひとりぐらし高齢者のふれあい給食</li> <li>・お困りごとサポート（生活支援）</li> <li>・高齢者支援（ゴミ出し、庭木等の手入れ）</li> <li>・高齢者の社会参加をデジタルで支援</li> <li>・高齢者の老後のくらしに関する相談会</li> <li>・介護予防</li> <li>・認知症予防教室</li> <li>・介護保険サービス事業</li> <li>・障害福祉サービス事業</li> <li>・視覚障がい児への生活支援や学習支援</li> <li>・児童館運営</li> <li>・学童保育</li> <li>・保育事業</li> <li>・兄弟児のためのイベント開催</li> </ul>
社会教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール依存症についての正しい知識普及</li> <li>・青少年に対するアルコールの知識普及</li> <li>・ヤングケアラー、若者ケアラーの支援</li> <li>・化粧品に対する正しい知識・使い方の教育</li> <li>・認知症カフェ（ほほえみ茶房）</li> <li>・犬やネコのおつかいのわからない飼い主さんへの教育</li> <li>・ボランティアで外国人に日本語を教える</li> <li>・交流分析理論を用いたコミュニケーションスキルアップ教育</li> <li>・高校生を対象としたワークショップ</li> <li>・中小企業、高校、大学等での教育支援（講演・講義）</li> <li>・子育て中の保護者に対する社会活動支援</li> <li>・寺子屋塾（技術者勉強会）</li> <li>・震災体験学習受入</li> <li>・発災の瞬間に自分の命を守る防災知識を身につける防災演習ゲームの実施</li> </ul>

活動分野	具体的な活動内容（例）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然学校の開催</li> <li>・大人、シニア世代のスポーツ活動の場を提供</li> <li>・巡回映画会の開催</li> <li>・金融リテラシー行動活動</li> <li>・地域交流イベントの開催</li> <li>・東南アジア・南アジアで絵本の配布</li> <li>・働く人の権利に関する啓発活動（HP・ニュース）</li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベント企画・開催支援（音響・映像など）</li> <li>・地域ブランドの開発と普及</li> <li>・地域交流スペース</li> <li>・地域交流の場づくり</li> <li>・地域福祉カフェ</li> <li>・マンション団地の運営支援</li> <li>・分譲マンションの支援</li> <li>・老朽団地における団地再生支援</li> <li>・近畿地方における港湾・空港の歴史と文化を市民に広報する活動</li> <li>・エネルギーをキーワードにした地域での取組支援</li> <li>・ラストワンマイルの取り組み</li> <li>・国内被災地域のまちづくり支援（地域団体への支援）</li> <li>・被災地における復興まちづくり支援</li> </ul>
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興による地方創生の企画・立案・運営支援</li> <li>・観光イベントやモニターツアーの企画進行</li> <li>・地元の特産物の紹介パンフの作成やセミナー</li> <li>・日本食材を含む漢方健康食品の共同開発</li> <li>・キャンプ</li> <li>・訪日客を増やす活動</li> <li>・介護付旅行</li> </ul>
農山漁村又は中山間地域の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業（野菜栽培）</li> <li>・特産品開発等</li> <li>・県産米の流通</li> <li>・農業体験</li> <li>・農村、山林での子供を対象とした体験活動</li> <li>・農村定住企業に向けた空き家の調査</li> <li>・オーガニック・ライフ事業</li> <li>・結婚支援活動を通じての男女共同参画社会の形成促進</li> <li>・大学と伝統行事への参加</li> <li>・伝統文化の保存・発展の支援</li> </ul>
学術・文化・芸術・スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術と科学の情報交換</li> <li>・食と健康の科学的情報に関する啓発普及事業</li> <li>・グローバルなアカデミアの視点を持ち、社会課題解決を行う人材育成</li> <li>・歴史的遺産（建築物）の調査・評価</li> <li>・アートギャラリーの運営</li> <li>・書写書道に関する研修会</li> <li>・展覧会、アートイベント等開催</li> <li>・仏教美術作品（仏像・仏画等）の展覧</li> <li>・絵画の研修</li> <li>・障害者のアート・音楽活動</li> </ul>

活動分野	具体的な活動内容（例）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽演奏会</li> <li>・中国音楽を広める</li> <li>・農村歌舞伎</li> <li>・和太鼓教室</li> <li>・映画の上映</li> <li>・映画関連のイベント</li> <li>・映画資料の収集・保存</li> <li>・日本の伝統食材や地元の食材を使った料理セミナー</li> <li>・プログラミング教室</li> <li>・スポーツを通じての地域スポーツの振興</li> <li>・学童軟式野球全国大会の運営</li> <li>・中学生を対象としたバスケットボール教室</li> <li>・フットサルの普及、強化</li> <li>・ラグビーチームの運営、スポーツ環境の提供</li> <li>・海洋スポーツの振興</li> <li>・日・韓青少年スポーツ交流</li> </ul>
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山公園ボランティア</li> <li>・森林ボランティア（放置された森林の整備）</li> <li>・里山における環境調査（環境省、自然保護協会、新聞社）</li> <li>・里地里山活動</li> <li>・地域の緑化活動</li> <li>・コミュニティー通路に花壇を設置して花を植える</li> <li>・緑化・エコ関連の商品開発・コンサルティング</li> <li>・林相整備で生物多様性の復活</li> <li>・六甲山での植樹、海外での植樹</li> <li>・近畿地方の沿岸域環境の保全と創造に関する業務</li> <li>・尾上緑化の研究</li> <li>・マングローブ植林</li> <li>・太陽光発電所の設置運営</li> <li>・再生可能エネルギーの普及活動</li> <li>・省エネ診断</li> <li>・SDGsと省エネの取組み</li> <li>・余剰食品の有効活用</li> <li>・産廃物の発生抑制への取組（プラ、食ロス）</li> <li>・温暖化防止基金の募金・運営事業</li> <li>・企業向けの環境保全活動への支援</li> <li>・町のクリーン作戦の展開</li> <li>・ゴミステーションの管理</li> <li>・まちネコ活動</li> <li>・行き場のないペットの保護と里親さがし</li> <li>・環境保護に関する技術開発・供与</li> <li>・子ども向けの環境学習の企画・運営</li> <li>・大人向けの環境学習の企画・運営</li> <li>・児童館出前エコ教室</li> </ul>
災害救援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の被災地支援（主に学校対象、行政機関、コミュニティ団体）</li> <li>・災害地域の自立支援</li> <li>・ペット防災にかかせない道具の推奨と動物避難所の開始</li> </ul>

活動分野	具体的な活動内容（例）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア資格や組織の運営</li> <li>・ 年末夜間パトロール</li> <li>・ 貧困国での災害時の緊急支援</li> </ul>
地域安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者見守り活動</li> <li>・ 高齢者のゴミ出しを兼ねた安否確認</li> <li>・ 応急手当での普及活動</li> <li>・ 交差点の安全確保の為の連絡</li> <li>・ マンションでの防災訓練等の支援</li> </ul>
人権擁護・平和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の権利擁護</li> <li>・ 障害者の人権擁護活動、障害者のエンパワメント</li> <li>・ 成年後見</li> <li>・ 少数民族の子どもの差別解消</li> <li>・ 電話による相談活動</li> </ul>
国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際交流促進活動</li> <li>・ 姉妹ヨットクラブとの定期的な交流</li> <li>・ 友好交流演奏会の開催</li> <li>・ 在日外国人との交流事業</li> <li>・ 在日外国人の居場所づくり</li> <li>・ 外国人親子教室開催協力</li> <li>・ 外国人に対する日本語支援</li> <li>・ 多言語環境の促進（翻訳、通訳、多言語企画）</li> <li>・ 外国の学校へ日本語補助教員を派遣</li> <li>・ 海外の孤児の自立支援</li> <li>・ アジアのコミュニティ防災、防災教育推進支援</li> <li>・ 日本で使用されていない中古船舶をアジア諸国へ提供</li> </ul>
男女共同参画社会の形成促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結婚支援活動を通じたの振興</li> <li>・ 人材育成</li> <li>・ 相談・関係機関への紹介</li> <li>・ 出張託児サービス</li> <li>・ 介護</li> </ul>
子どもの健全育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こども食堂</li> <li>・ こどもの居場所</li> <li>・ 離乳食の作り方講座</li> <li>・ 学習支援</li> <li>・ 子どもの育成相談</li> <li>・ 学童保育</li> <li>・ 児童館</li> <li>・ 放課後学習支援</li> <li>・ おもちゃ病院</li> <li>・ はみがき教室</li> <li>・ 食育イベント開催等</li> <li>・ 野外活動</li> <li>・ 野外活動施設の管理運営とキャンプ事業</li> <li>・ 小中学生のスポーツ教室活動を通じたの健全育成</li> <li>・ フードパントリー</li> <li>・ 工作を通じた環境教育</li> <li>・ 教員向けセミナー、学習会の開催</li> </ul>

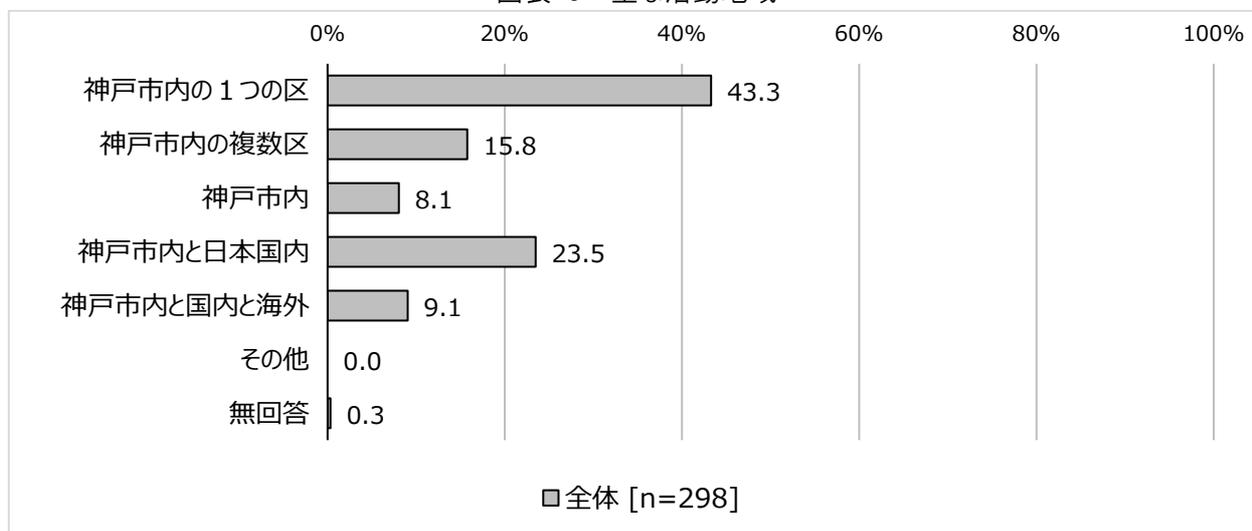
活動分野	具体的な活動内容（例）
情報化社会の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン操作、オンライン会議の使い方支援</li> <li>・プログラミング教室</li> <li>・ホームページ、フェイスブックでの情報発信</li> <li>・メディアリテラシー力の向上を目指す活動</li> <li>・中小企業のIT化支援</li> </ul>
科学技術の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験教室</li> <li>・食品の安全性と食餌投与を可能とする食べものに係る学術的開発研究事業</li> <li>・自動走行への取り組み</li> <li>・中小企業の経営、事業、社員教育、生産管理販路開拓等支援</li> <li>・防災技術の振興</li> </ul>
経済活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要と供給実態の市場傾向調査と知的所有権取得などに係る関連事業</li> <li>・地元リフォーム業者への情報提供、勉強会開催</li> <li>・中小企業における省エネビジネスの推進</li> <li>・中小企業の経営支援</li> <li>・駐輪場の管理委託事業</li> <li>・売れ残りパンのナイトセール</li> </ul>
職業能力の開発・雇用機会の拡充支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアカウンセリング</li> <li>・インターシップ活動</li> <li>・児童養護施設を出た子ども達への職業体験や定着サポート</li> <li>・障害者のための就労支援</li> <li>・病院、介護施設への就職</li> <li>・外国での日本語学校、介護学校の開校</li> </ul>
消費者保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者学級の開催</li> <li>・啓発セミナーの開催</li> <li>・差止請求活動</li> </ul>
市民活動団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり団体・個人の活動支援</li> <li>・マンション管理組合の活動支援</li> <li>・各NPO団体に関する会計補助</li> <li>・世代結び事業（地域団体のネットワーク作り）</li> <li>・地域活動支援の人材育成</li> <li>・地域活動団体の立ち上げ、運営サポート、人材養成講座の実施</li> <li>・助成事業/寄付文化の醸成・啓発</li> </ul>

### ③主な活動地域（問3）

#### (7)主な活動地域

主な活動地域は、「神戸市内の1つの区」が43.3%と最も多く、次いで「神戸市内と日本国内」が23.5%、「神戸市内の複数区」が15.8%などとなっている。

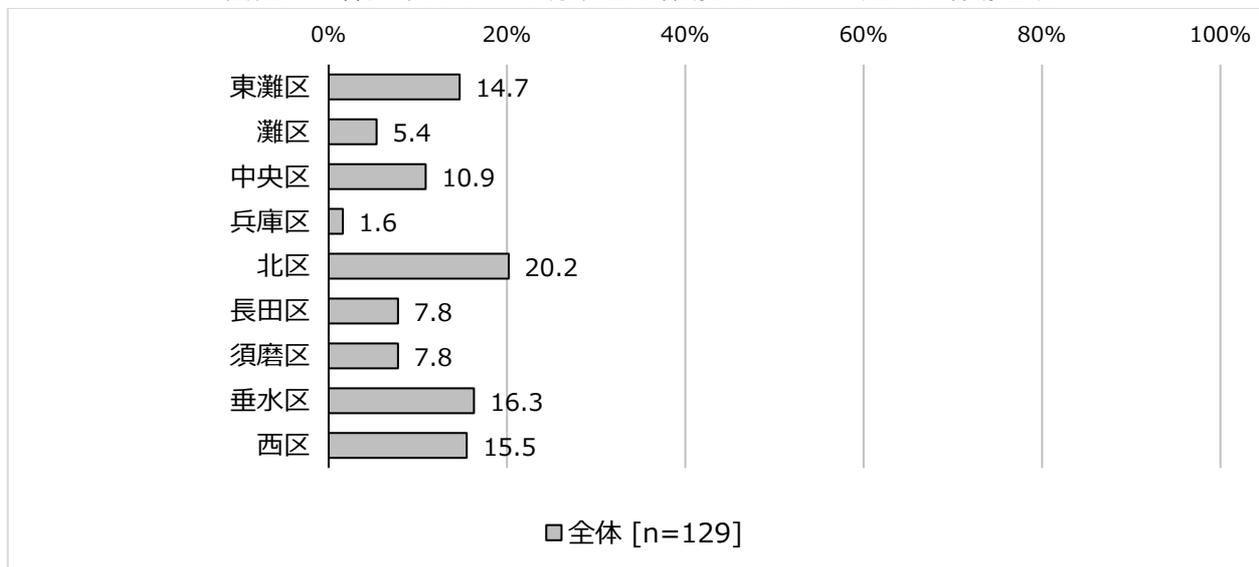
図表 3 主な活動地域



#### (4) 神戸市内の1つの行政区で活動しているNPO法人の活動地域

神戸市内の1つの行政区で活動しているNPO法人（129団体）の活動地域は、「北区」が20.2%と最も多く、次いで「垂水区」が16.3%、「西区」が15.5%などとなっている。

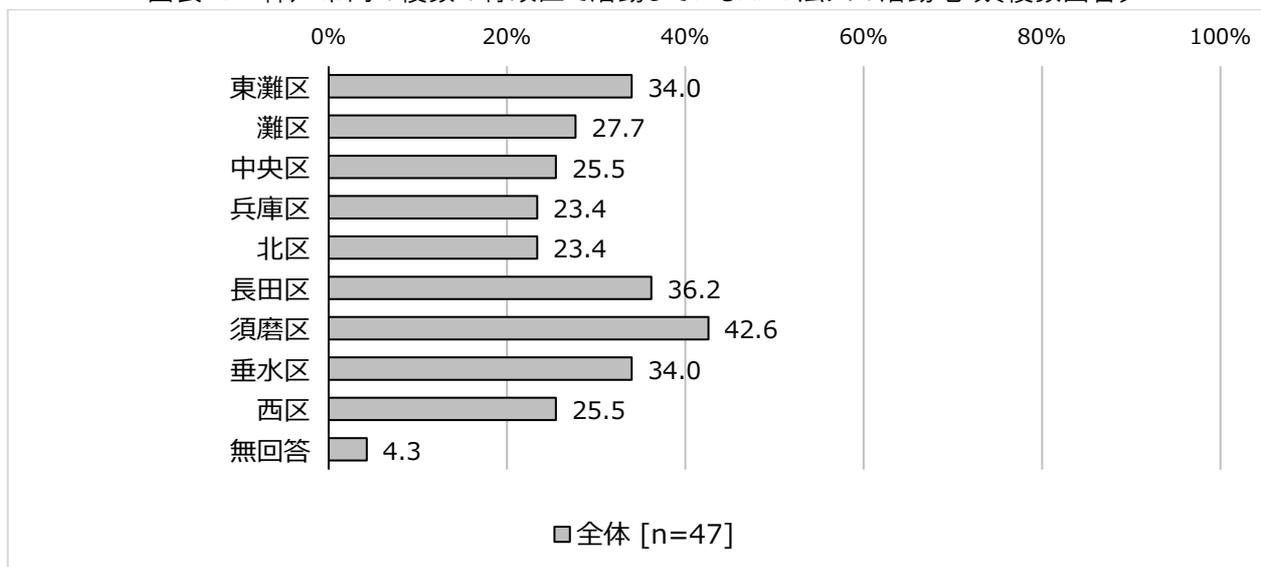
図表 4 神戸市内の1つの行政区で活動しているNPO法人の活動地域



(ウ) 神戸市内の複数の行政区で活動しているNPO法人の活動地域

神戸市内の複数の行政区で活動しているNPO法人(47団体)の活動地域は、「須磨区」が42.6%と最も多く、次いで「長田区」が36.2%、「東灘区」と「垂水区」が34.0%などとなっている。

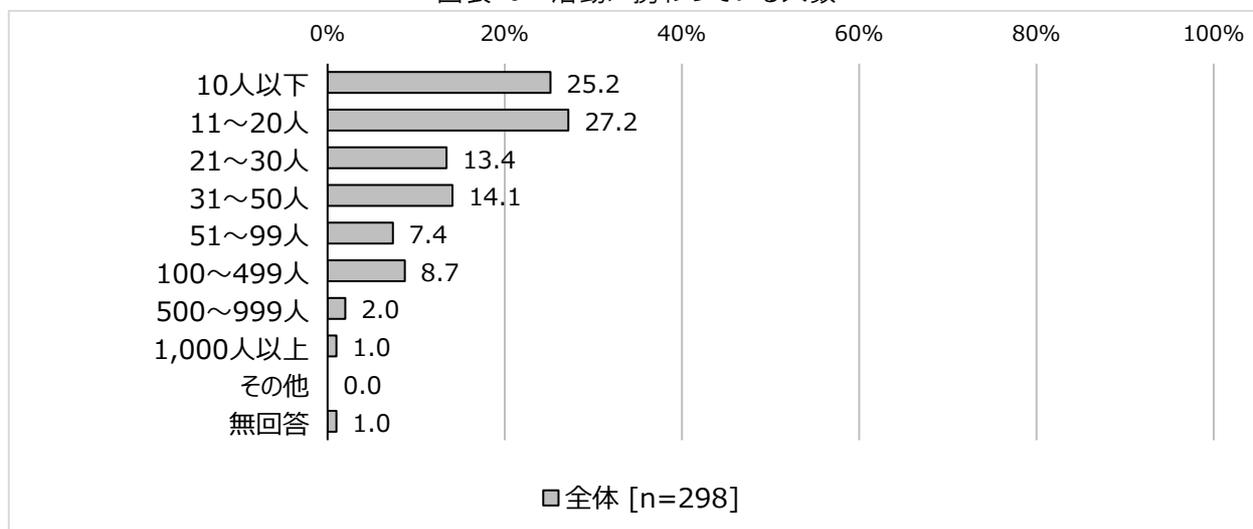
図表 5 神戸市内の複数の行政区で活動しているNPO法人の活動地域〔複数回答〕



④ 活動に携わっている人数 (問4)

活動に携わっている人数は、「11~20人」が27.2%と最も多く、次いで「10人以下」が25.2%、「31~50人」が14.1%などとなっている。

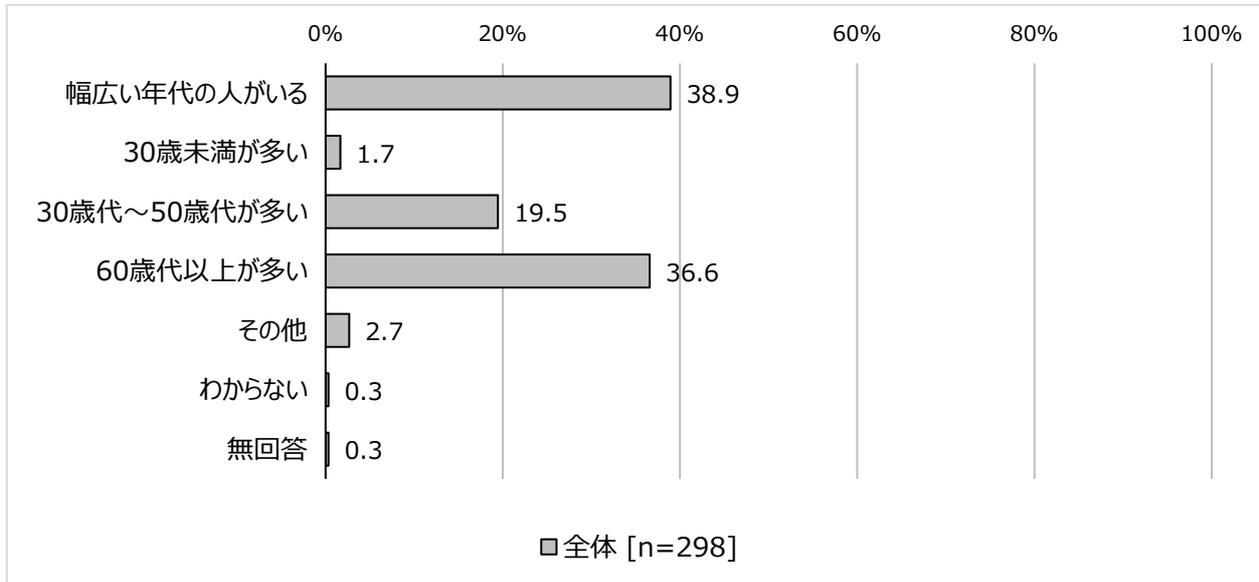
図表 6 活動に携わっている人数



⑤ 活動に携わっている人の年齢の特徴（問5）

活動に携わっている人の年齢の特徴は、「幅広い年代の人がいる」が38.9%と最も多く、次いで「60歳代以上が多い」が36.6%、「30歳代～50歳代が多い」が19.5%などとなっている。

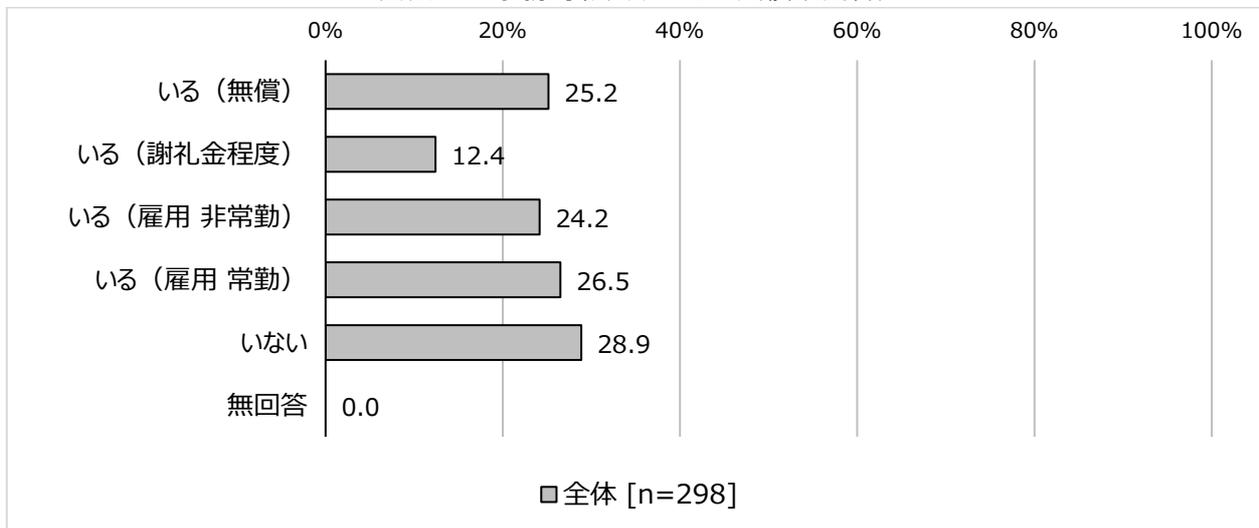
図表 7 活動に携わっている人の年齢の特徴



⑥ 事務局職員（スタッフ）（問6）

事務局職員(スタッフ)は、「いない」が28.9%と最も多く、次いで「いる(雇用 常勤)」が26.5%、「いる(無償)」が25.2%などとなっている。

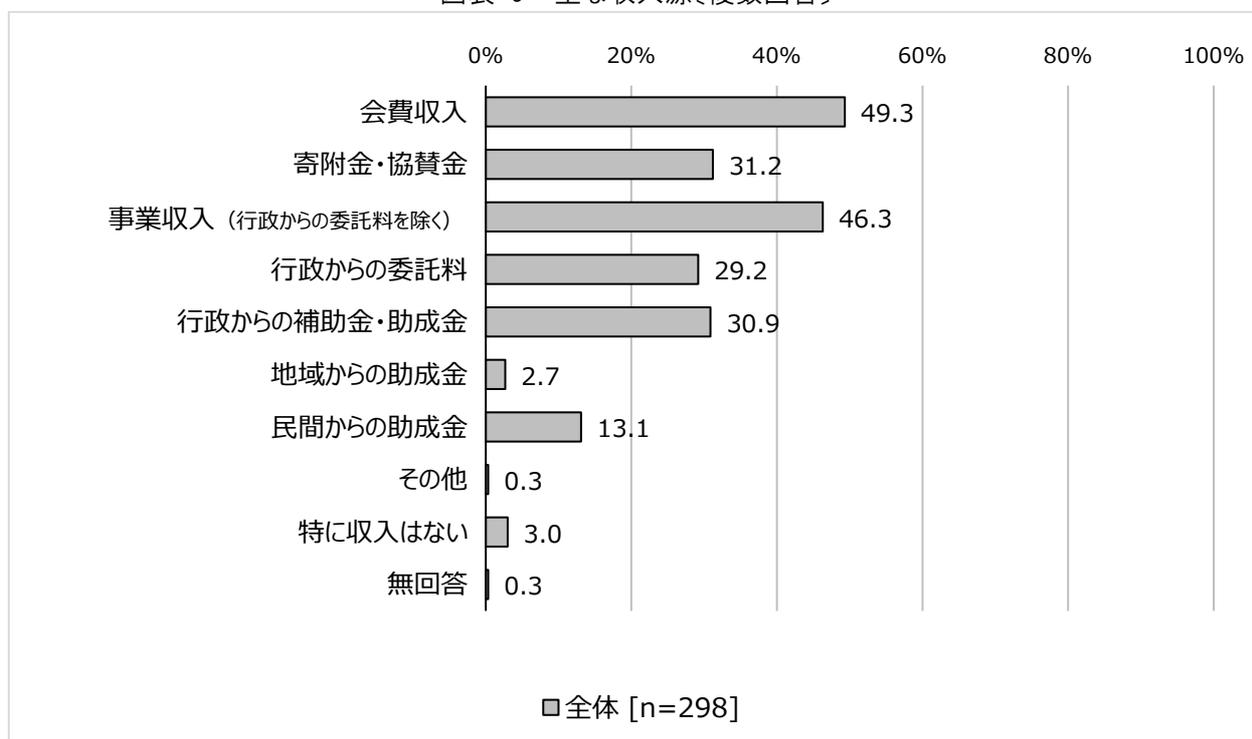
図表 8 事務局職員(スタッフ)[複数回答]



### ⑦ 主な収入源（問 7）

主な収入源は、「会費収入」が49.3%と最も多く、次いで「事業収入（行政からの委託料を除く）」が46.3%、「寄附金・協賛金」が31.2%などとなっている。

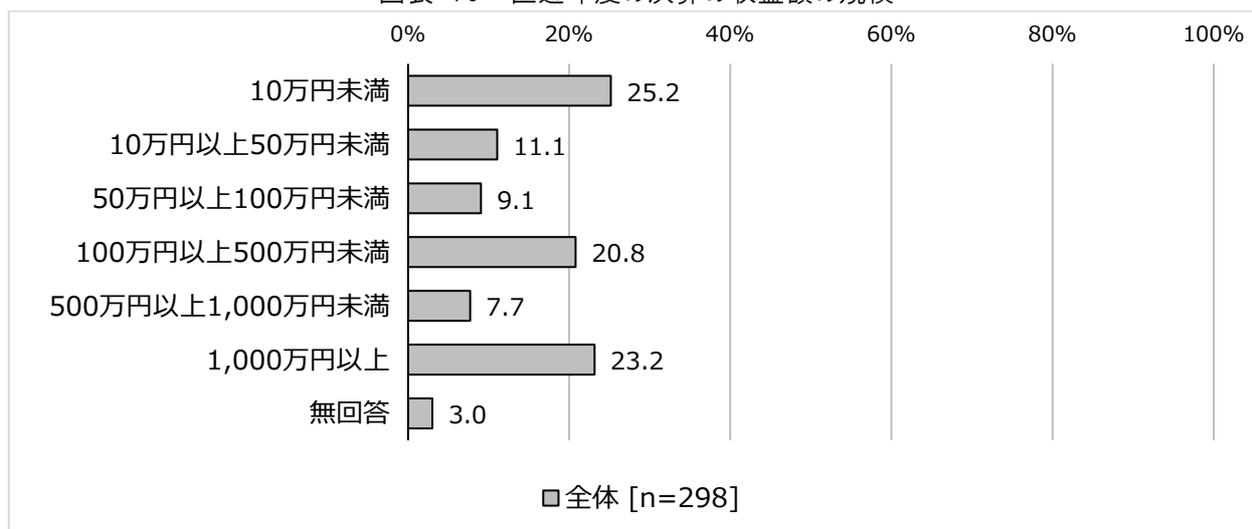
図表 9 主な収入源〔複数回答〕



### ⑧ 直近年度の決算の収益額の規模（問 8）

直近年度の決算の収益額の規模は、「10万円未満」が25.2%と最も多く、次いで「1,000万円以上」が23.2%、「100万円以上500万円未満」が20.8%などとなっている。

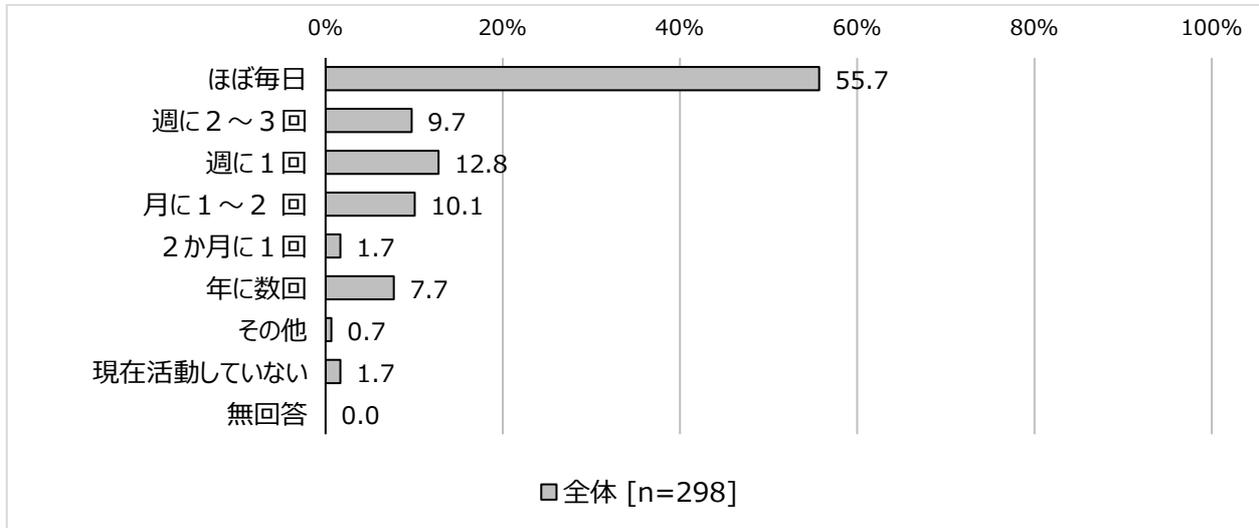
図表 10 直近年度の決算の収益額の規模



### ⑨ 団体の活動頻度（問9）

団体の活動頻度は、「ほぼ毎日」が55.7%と最も多く、次いで「週に1回」が12.8%、「月に1～2回」が10.1%などとなっている。

図表 11 団体の活動頻度



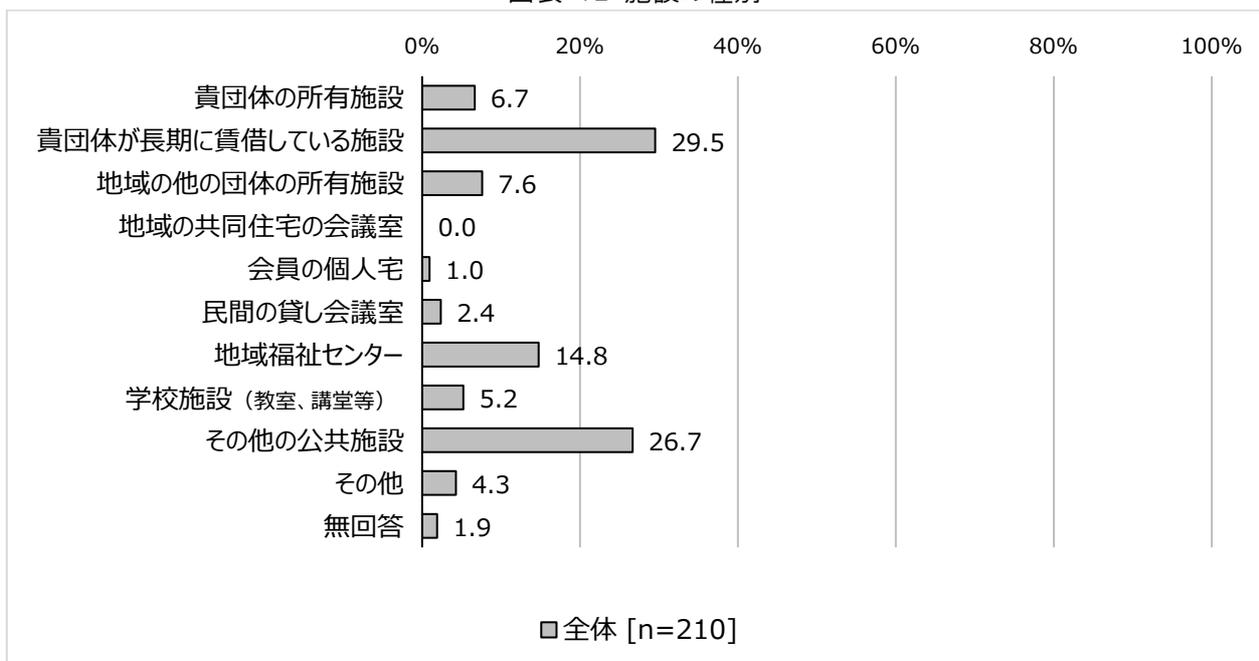
### (3) 利用施設と集まりの開催状況

#### ① 定期的に利用している施設（問10）

NPO法人が定期的に利用している施設として210施設の回答があった。

施設の種別は、「貴団体が長期に賃借している施設」が29.5%と最も多く、次いで「その他の公共施設」が26.7%、「地域福祉センター」が14.8%などとなっている。

図表 12 施設の種別



## ② 集まりの状況（主な利用対象者と開催頻度）（問 10）

定期的に開催している集まりとして332件の回答があった。

主な利用対象者は、「どなたでも」が104件と最も多く、月1回の開催の集まりが多くなっている。次いで、「子ども」を対象とする集まりが61件で、月5回以上の開催の集まりが多くなっている。

図表 13 集まりの状況(主な利用対象者と開催頻度)

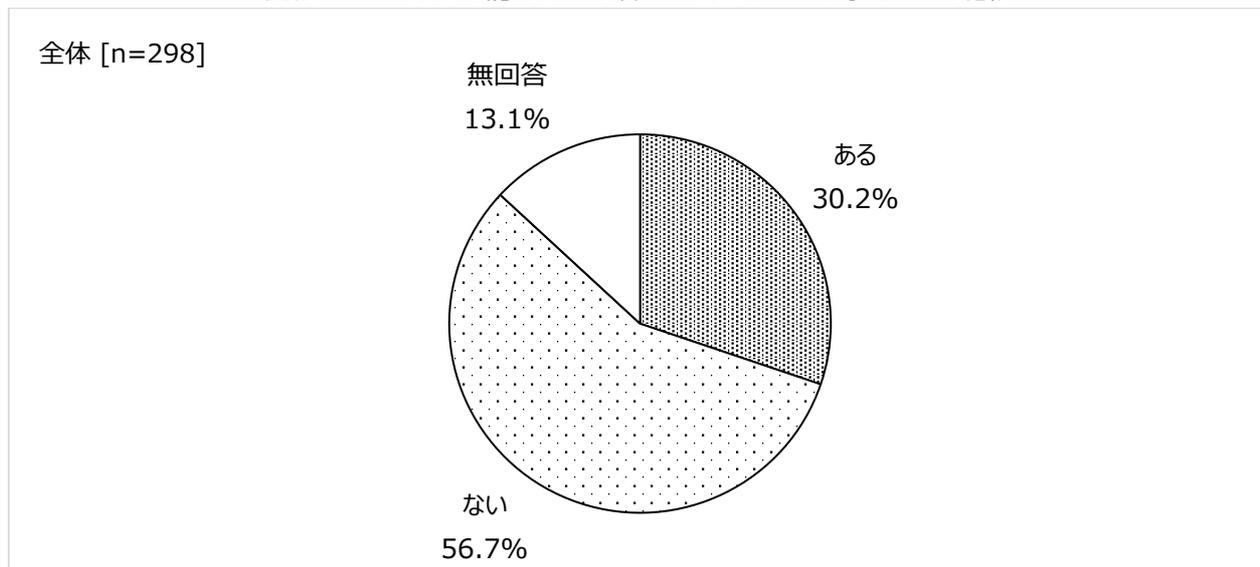
主な利用対象	合計	開催頻度（月当たりの開催日数）						
		月1回未満	月1回	月2回	月3回	月4回	月5回以上	無回答
合計 [n=332]	332	13	86	27	7	56	110	33
	100.0	3.9	25.9	8.1	2.1	16.9	33.1	9.9
どなたでも [n=104]	104	3	33	13	4	10	26	15
	100.0	2.9	31.7	12.5	3.8	9.6	25.0	14.4
子ども [n=61]	61	2	9	2	0	6	39	3
	100.0	3.3	14.8	3.3	0.0	9.8	63.9	4.9
親子 [n=37]	37	0	9	3	1	9	11	4
	100.0	0.0	24.3	8.1	2.7	24.3	29.7	10.8
高齢者 [n=59]	59	4	11	7	2	27	6	2
	100.0	6.8	18.6	11.9	3.4	45.8	10.2	3.4
その他 [n=54]	54	3	21	2	0	1	21	6
	100.0	5.6	38.9	3.7	0.0	1.9	38.9	11.1
無回答[n=17]	17	1	3	0	0	3	7	3
	100.0	5.9	17.6	0.0	0.0	17.6	41.2	17.6

## ③利用可能であれば新たに利用したいと考えている施設（問 11）

### (7)新たに利用したいと考えている施設

利用可能であれば新たに利用したいと考えている施設は、「ある」が30.2%、「ない」が56.7%となっている。

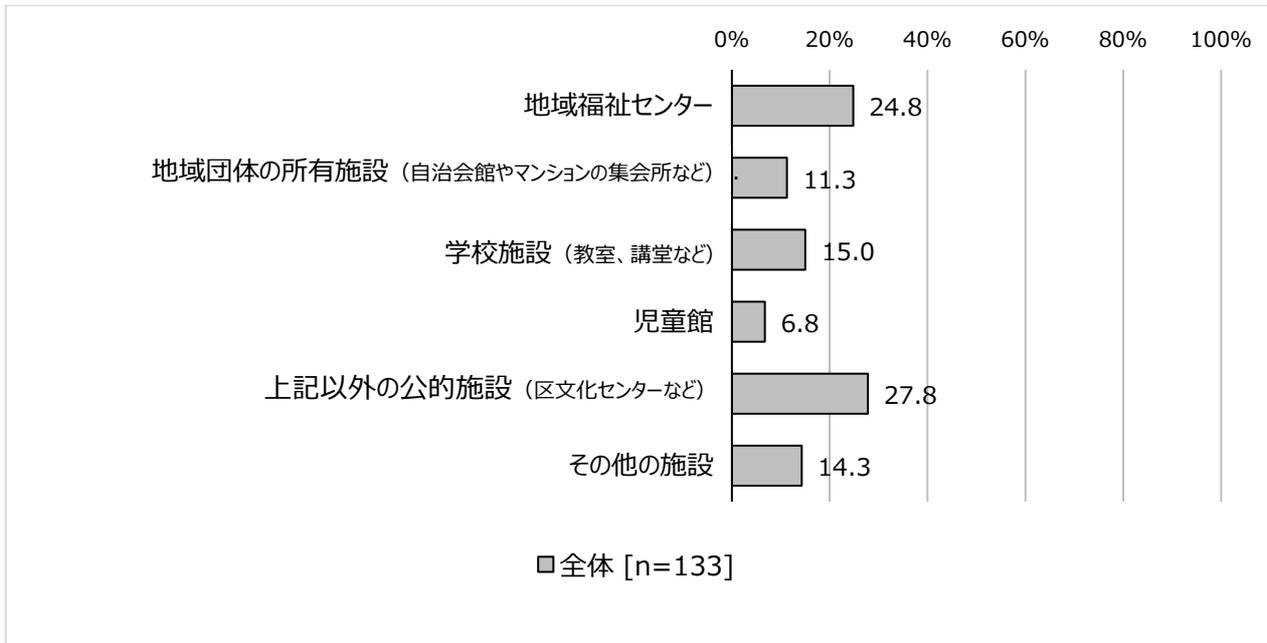
図表 14 利用可能であれば新たに利用したいと考えている施設



(イ) 新たに利用したいと考えている施設の種別

利用可能であれば新たに利用したいと考えている施設と回答のあった施設（133施設）の種別は、「公的施設（区文化センターなど）」が27.8%と最も多く、次いで「地域福祉センター」が24.8%などとなっている。

図表 15 利用可能であれば新たに利用したいと考えている施設の種別〔複数回答〕



(ウ) 新たに利用したいと考えている施設で考えている活動内容

今後、利用可能であれば新たに利用したいと考えている施設において考えている活動として、次のような活動があげられた。

図表 16 新たに利用したい施設で考えている活動内容

利用したい施設	考えている活動内容 (例)
地域福祉センター	地域の方々との交流イベント、1人ぐらしの方の交流、子ども食堂、子育て、学習支援、学童保育、こどもの居場所づくり、保護者会、クリスマス会、多文化共生 (外国のお菓子づくりなど)、体操、趣味活動、ペット相談会、就活セミナー、料理会、多世代食堂、映画会、プログラミング教室、応急手当普及活動、ボランティア交流会、研修
地域団体の所有施設	地域の方々との交流、スポーツ教室、折り紙教室、踊り、コーラス、調理、こども・若者の居場所づくり、スマホ教室、ペット相談会、研修会
学校施設	講演、昔あそびなど交流事業、紙芝居、動物とふれあえるイベント、音楽活動 (コンサート)、ドローンリテラシー講座、バスケットボール教室、プール遊び、競泳、野球教室、放課後学習、学童保育、こども居場所づくり、校内フリースクール、こども食堂、放課後外国籍子ども向け補講 (母国語による)
児童館	百人一首、こども食堂、学習支援、学童保育
公的施設	作品展、ダンス練習、幼児教室、子ども向けの環境学習、こども食堂、学習支援、フードバンクの倉庫、高齢者対象の運動会、視覚障がいの理解啓発のイベント、応急手当普及活動、マンション管理組合対象の相談会やセミナー、教師向け学習会、外国籍の方の集団就職セミナー、ボランティア活動の定例会、会議、講演、研修
その他	クリスマス会等各種イベント、こども食堂、寺子屋塾、学習支援、児童の野外活動、保護犬のふれあい会、障がい児をもつ家族の交流会、応急手当普及活動、会議

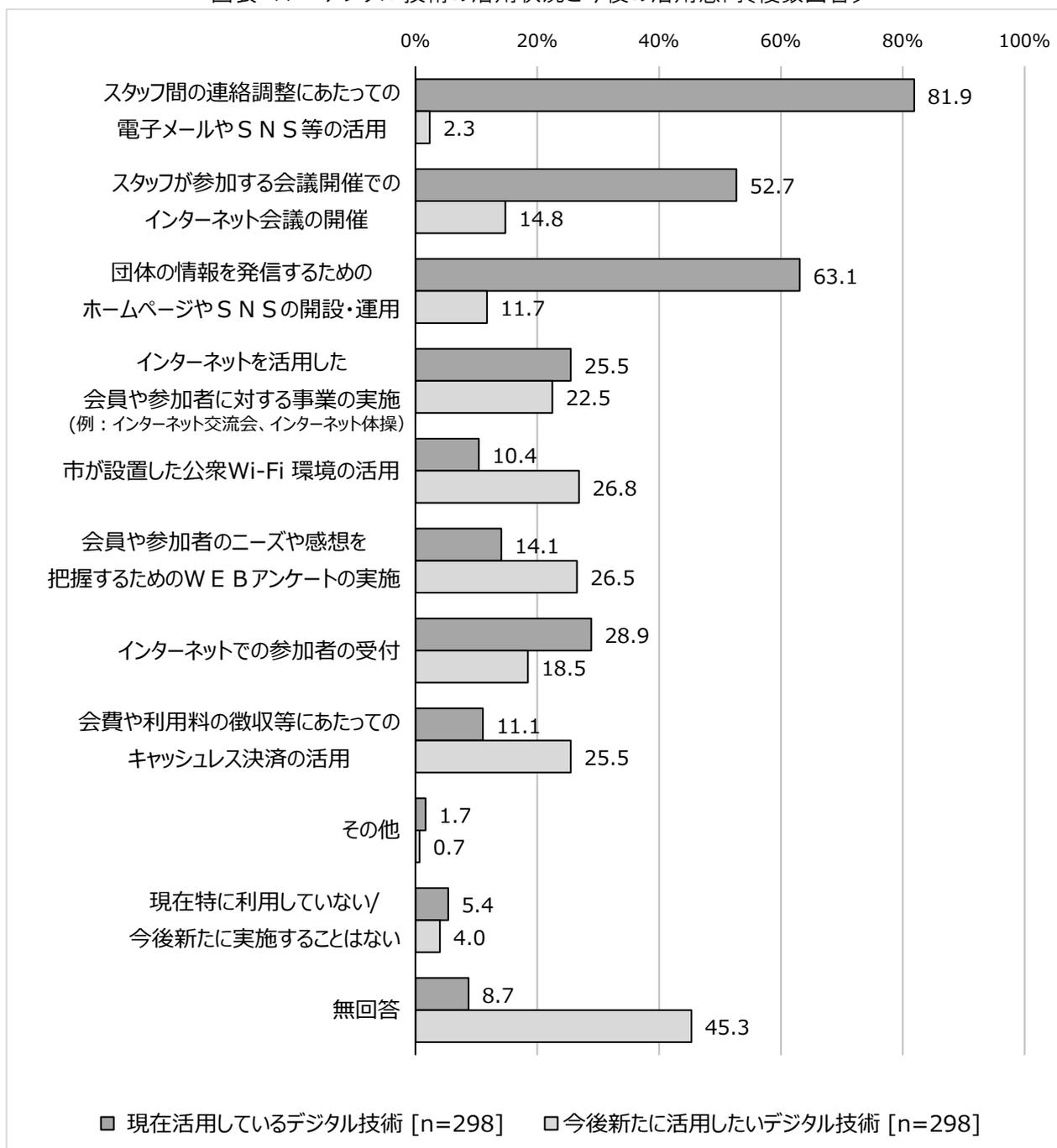
## (4) デジタル技術の活用

### ① デジタル技術の活用状況と今後の活用意向（問 14）

現在活用しているデジタル技術は、「スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用」が81.9%と最も多く、次いで「団体の情報を発信するためのホームページやSNSの開設・運用」が63.1%、「スタッフが参加する会議開催でのインターネット会議の開催」などが52.7%となっている。

今後新たに活用したいデジタル技術は、「市が設置した公衆Wi-Fi 環境の活用」が26.8%と最も多く、次いで、「会員や参加者のニーズや感想を把握するためのWEBアンケートの実施」が26.5%、「会費や利用料の徴収等にあたってのキャッシュレス決済の活用」が25.5%などとなっている。

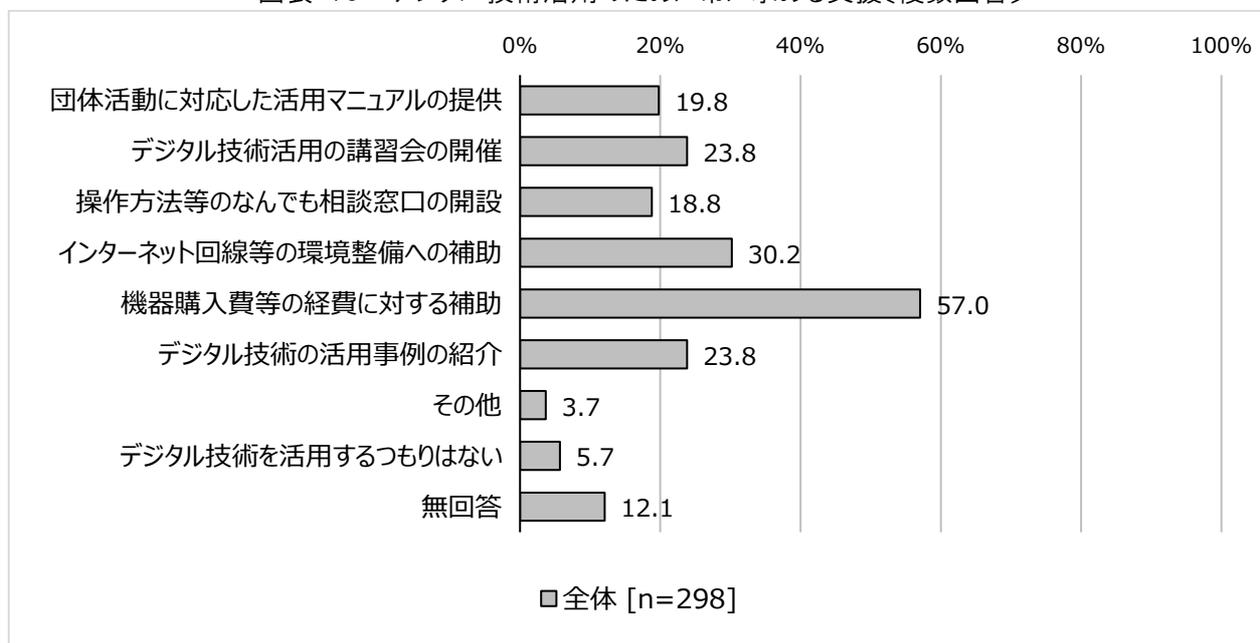
図表 17 デジタル技術の活用状況と今後の活用意向〔複数回答〕



## ② デジタル技術活用のために市に求める支援（問 15）

デジタル技術活用のために市に求める支援は、「機器購入費等の経費に対する補助」が57.0%と最も多く、次いで「インターネット回線等の環境整備への補助」が30.2%、「デジタル技術活用の講習会の開催」と「デジタル技術の活用事例の紹介」が23.8%などとなっている。

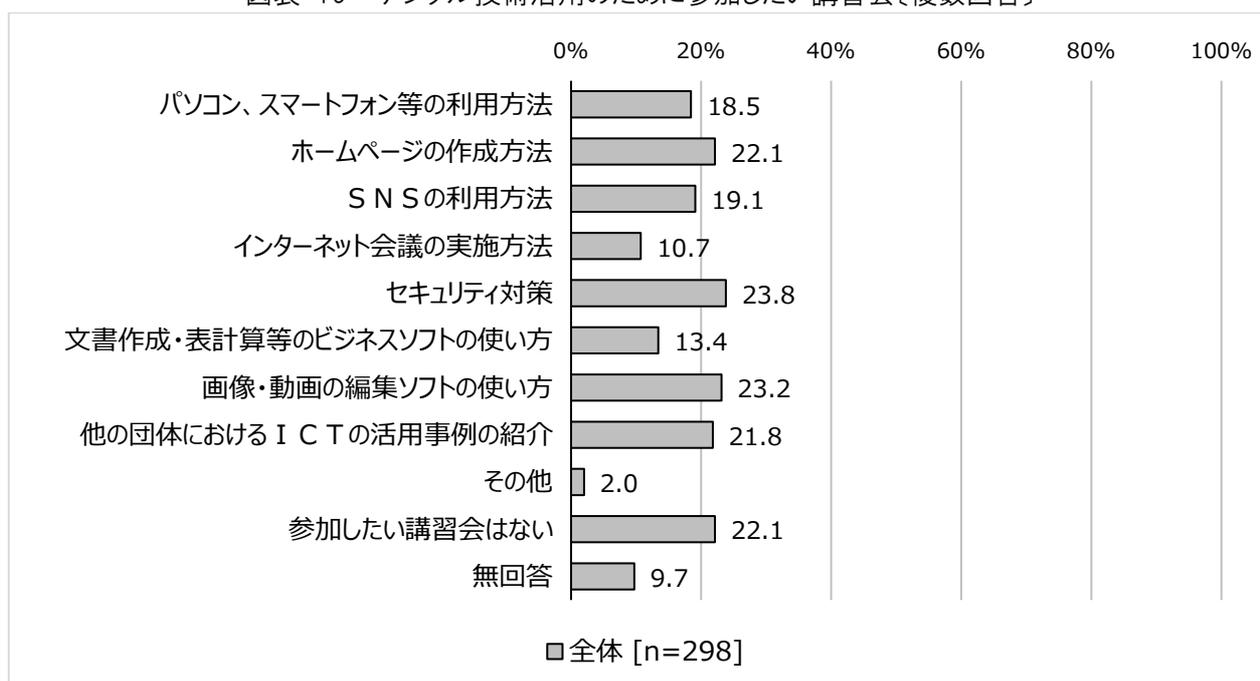
図表 18 デジタル技術活用のために市に求める支援〔複数回答〕



## ③ デジタル技術活用のために参加したい講習会（問 16）

デジタル技術活用のために参加したい講習会は、「セキュリティ対策」が23.8%と最も多く、次いで「画像・動画の編集ソフトの使い方」が23.2%、「ホームページの作成方法」と「参加したい講習会はない」が22.1%などとなっている。

図表 19 デジタル技術活用のために参加したい講習会〔複数回答〕



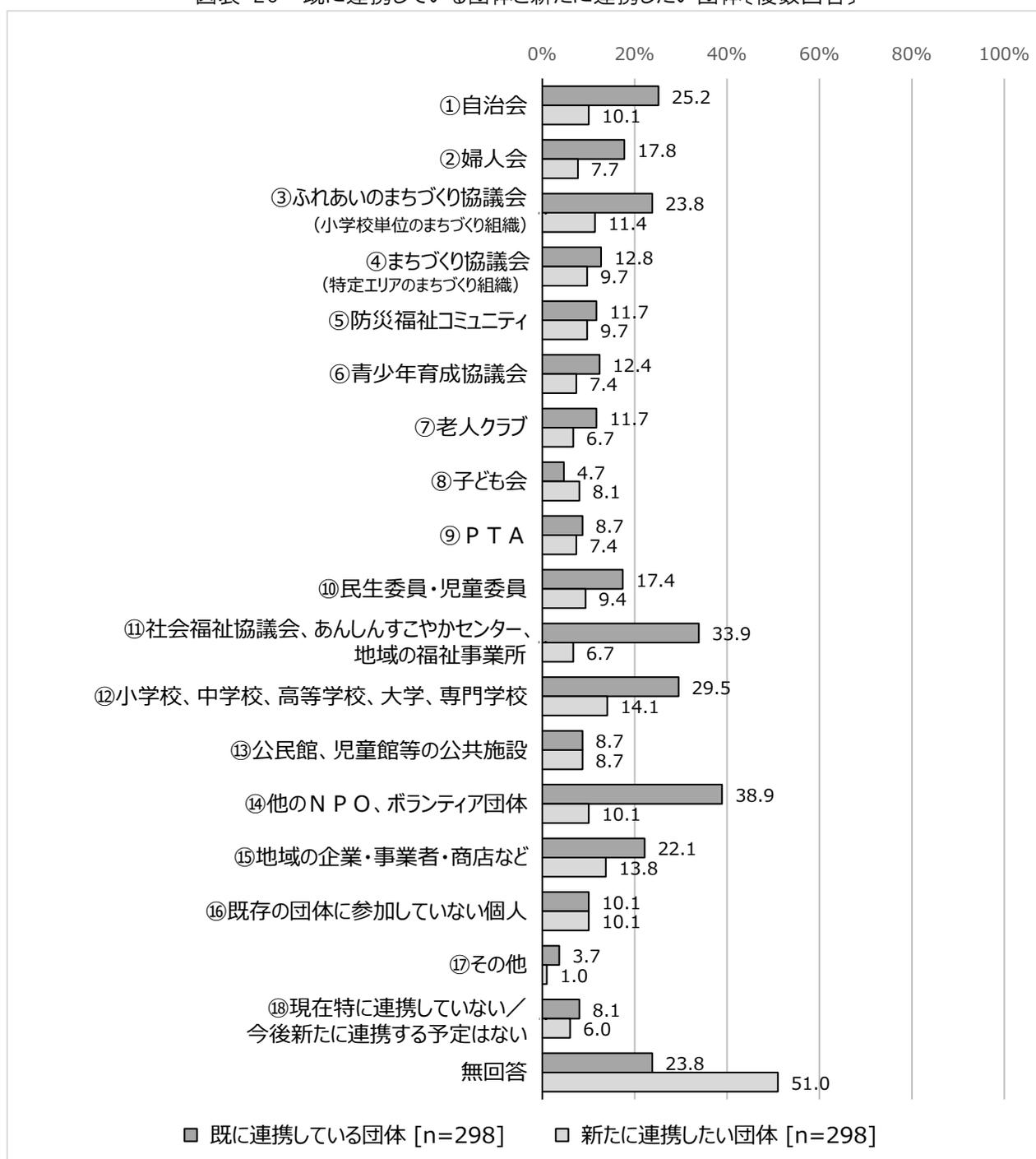
## (5) 他団体との連携

### ①他団体との連携の状況（問 18）

既に連携している団体は、「⑭他のNPO、ボランティア団体」が38.9%と最も多く、次いで「⑪社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉事業所」が33.9%、「⑫小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校」が29.5%などとなっている。

新たに連携したい団体は、「⑫小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校」が14.1%と最も多く、次いで「⑮地域の企業・事業者・商店など」が13.8%、「③ふれあいのまちづくり協議会」が11.4%などとなっている。

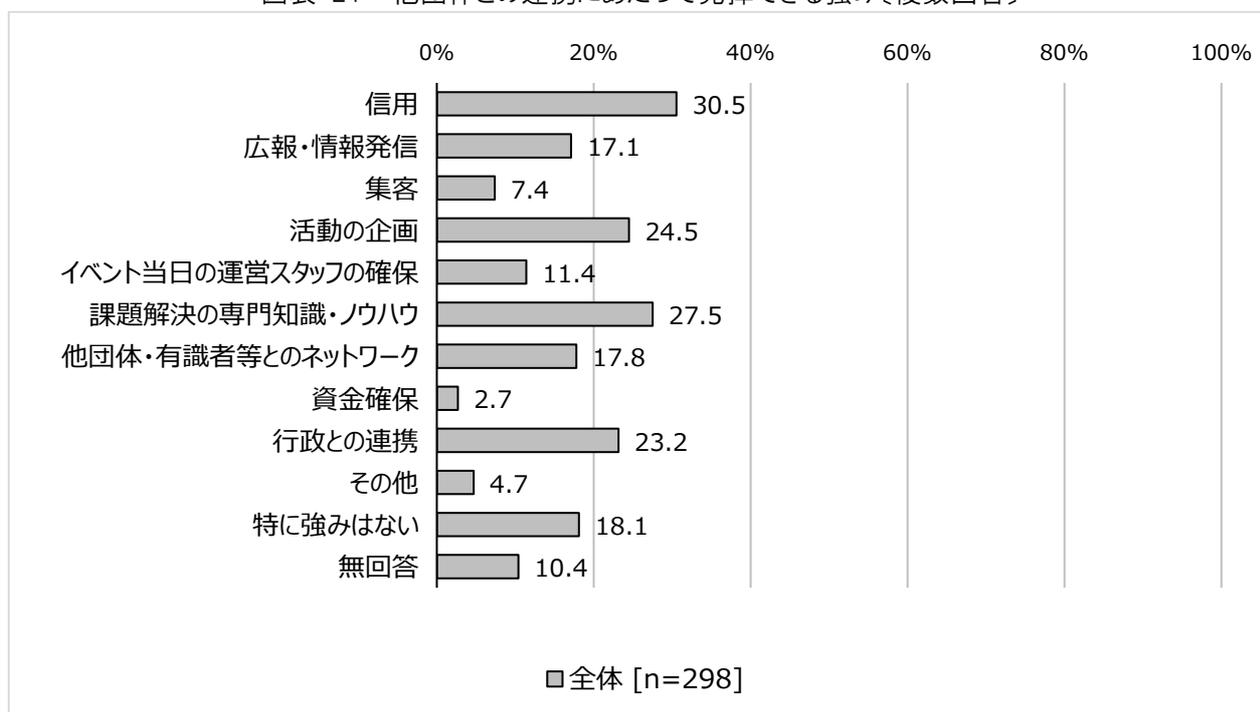
図表 20 既に連携している団体と新たに連携したい団体〔複数回答〕



## ②他団体との連携にあたって発揮できる強み（問 19）

他団体との連携にあたって発揮できる強みは、「信用」が30.5%と最も多く、次いで「課題解決の専門知識・ノウハウ」が27.5%、「活動の企画」が24.5%などとなっている。

図表 21 他団体との連携にあたって発揮できる強み〔複数回答〕



## ③他団体と連携した取組事例（問 20）

他団体と連携した取組として、次のような取組事例があげられた。

図表 22 他団体と連携した取組事例

連携先	連携内容（例）
自治会	お祭り、文化祭、認知症予防活動、防災学習、地域清掃
婦人会	民謡春まつり、介護予防教室、消費者学級、新聞エコバッグ教室、エコサークル
ふれまち協	夏まつり、文化祭、ハロウィン、クリスマス会、もちつき、ふれあい喫茶、料理教室、子育て支援、学童保育の長期休み（夏休み等）の昼食提供、おもちゃ病院、クッキーケーキ販売を通じた障害理解、交通安全教室、避難訓練、難病患者への災害支援、イルミネーション、野菜販売
まちづくり協議会	プログラミング教室、清掃活動
防災福祉コミュニティ	防災訓練
青少年育成協議会	夏まつり、盆踊りの練習、クリスマス会、七夕など伝統的行事、交通安全教室、メディアセミナー
老人クラブ	輪投げ、グラウンドゴルフ大会
子ども会	スポレク事業
民生・児童委員	夏まつり、クリスマス会、子育て交流、WEBでのひろば開催、交通安全教室、研修講師

連携先	連携内容（例）
社協、福祉施設等	フードドライブ、農園作業、黒枝豆収穫体験、アート企画、児童館巡回支援、成年後見制度の普及・相談、共同販売バザー、福祉自主製品販売会、募金百貨店プロジェクトへの参加、保護犬ふれあい会、施設へ入所される方のペットの保護、ごみ出し困難世帯の紹介、特例子会社立ち上げの経験からの助言、こども相談における専門職とのネットワーク作り、ボランティアグループの立ち上げ支援、勉強会
学校	園児との交流、絵本の配布、ふれあい給食への児童・園児の参加、盆おどりの講習、学童保育、近隣小学校の自然観察教育、野菜販売、トライやるウィークの受け入れ、インターンの受け入れ、国内外の様々な地域の学校をつないだオンライン交流会、ピオトープ、バタフライガーデンの造成、自然体験、伝統行事への参加、国際交流会、多文化共生についての講義・ワークショップ・インターシップの受入、地域コミュニティ道路の美化、地域資源を生かした地域活性化事業、職員研修での講師
公民館、児童館等	給食サービス、出前エコ講座
他のNPO等	絵本の配布、WEBでのひろば開催、お困りごと・家事援助、成年後見制度の普及・相談、公園の運営・設備およびイベント、炭焼き窯の製作・設置、防災動画へのバリアフリー字幕の作成協力、外国人労働者の相談、東日本大震災の支援活動、チャリティーウォーク
事業者・商店	体力測定会、フードドライブ、ゴミ出し困難世帯の紹介、環境保全活動の支援、経営の情報交換、契約書の確認、自動走行・ラストマイルなどの実証実験、商品パッケージの開発（ユニバーサルデザイン）

#### ④ 他団体と連携して実現したいこと（アイデア）（問 21）

他団体と今後連携して実現したいこと（アイデア）として次のような回答があげられた。

図表 23 他団体と連携して実現したいこと(アイデア)

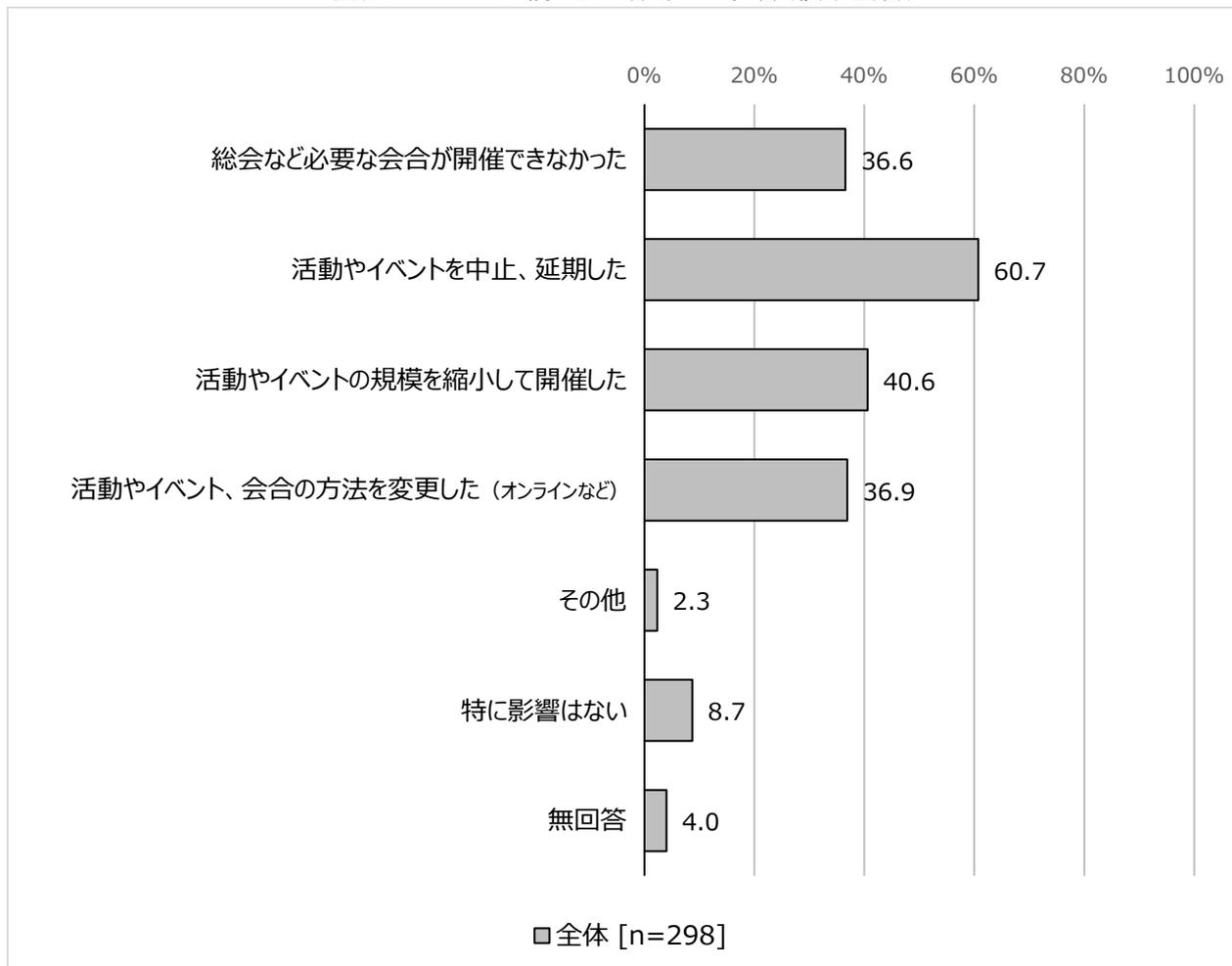
連携したい相手	連携して実現したいこと（アイデア）（例）
自治会	お祭り、セミナー開催、多文化共生、防災学習、里山整備、動画へのバリアフリー字幕の追加、クッキーケーキ販売を通じた障害理解
ふれまち協	メディカルアロマを使った健康づくり、居場所づくり、防災食の備蓄、災害時の難病への理解、AEDの普及、地域福祉センターの管理
まちづくり協議会	イベント
老人クラブ	フレイル教室、グランドゴルフ大会
子ども会	軽度の障害児、とじこもりの子どものための居場所づくり
民生・児童委員	ふれあい教室、地域外国人居住者への意識調査
社協、福祉施設等	絵本の出版と配布、子どもの貧困、障害児童デイ、障がいをもつ子どもへの療育的プログラム、強度行動障害への対応研修、地域福祉の視点の中に外国人住民を組み入れる
学校	子どもの学習支援、学校での「こども食堂」開催、再エネの普及、ゴミ出しサポート、通学前のボランティア、若い大学生のアイデアでイベントを開催、さい帯血バンクの活動紹介、メンタルヘルス教育
公民館、児童館等	伝統文化教室
NPO等	絵本の出版と配布、お困りごとや家事援助の協力、フレイル教室の開催、竹の利用・炭焼き
事業者・商店	トライやる・ウィーク受入先の拡充、男性の家事育児の参画、防災学習、地域運営支援アプリの開発
個人	写真展、学校の居場所のボランティア

## (6) 活動を進めていくための課題

### ① コロナ禍による活動への影響（問 12）

コロナ禍による活動への影響は、「活動やイベントを中止、延期した」が60.7%と最も多く、次いで「活動やイベントの規模を縮小して開催した」が40.6%、「活動やイベント、会合の方法を変更した(オンラインなど)」が36.9%などとなっている。

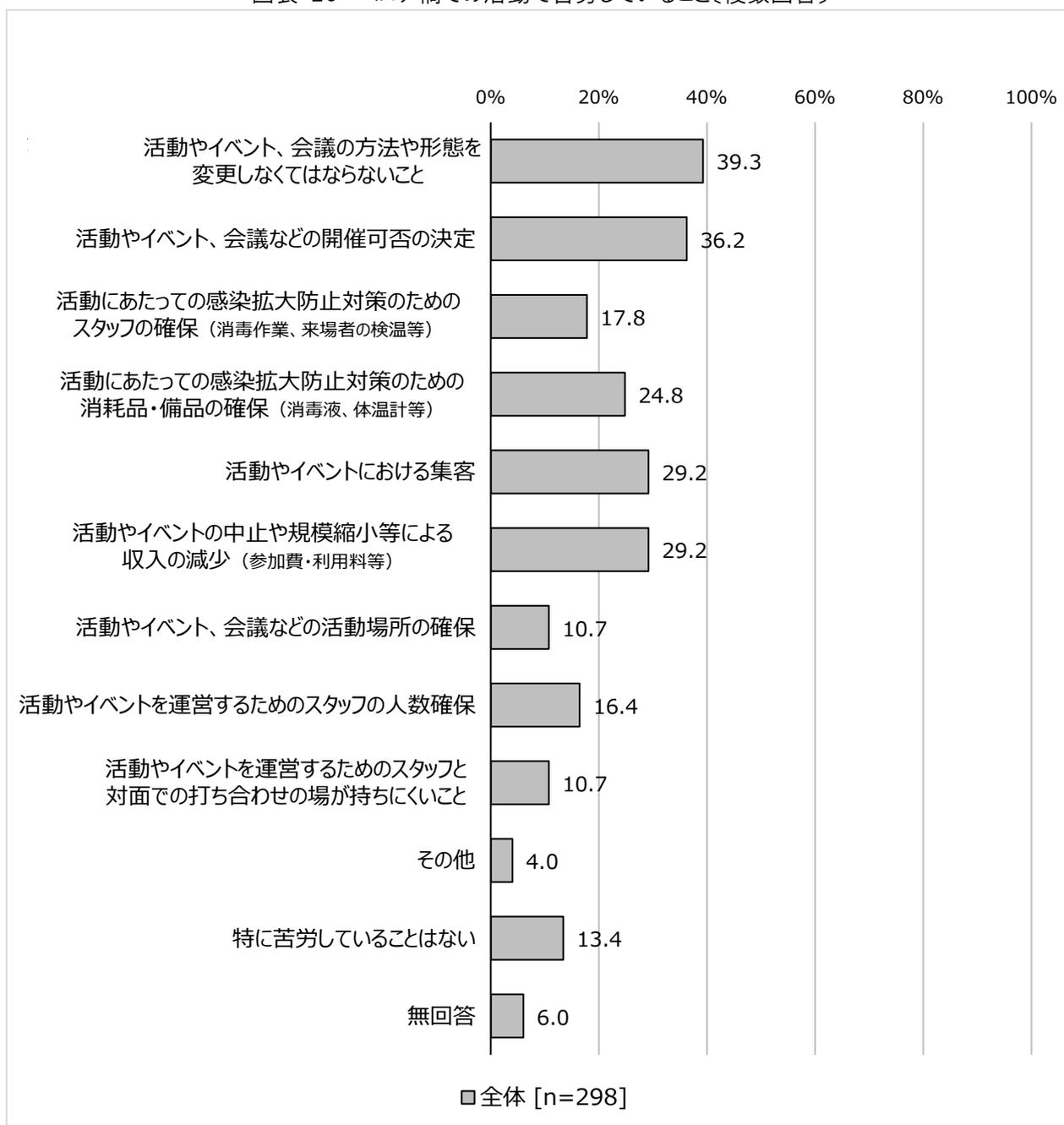
図表 24 コロナ禍による活動への影響〔複数回答〕



## ②コロナ禍での活動で苦労していること（問 13）

コロナ禍での活動で苦労していることは、「活動やイベント、会議の方法や形態を変更しなくてはならないこと」が39.3%と最も多く、次いで「活動やイベント、会議などの開催可否の決定」が36.2%、「活動やイベントにおける集客」と「活動やイベントの中止や規模縮小等による収入の減少（参加費・利用料等）」が29.2%などとなっている。

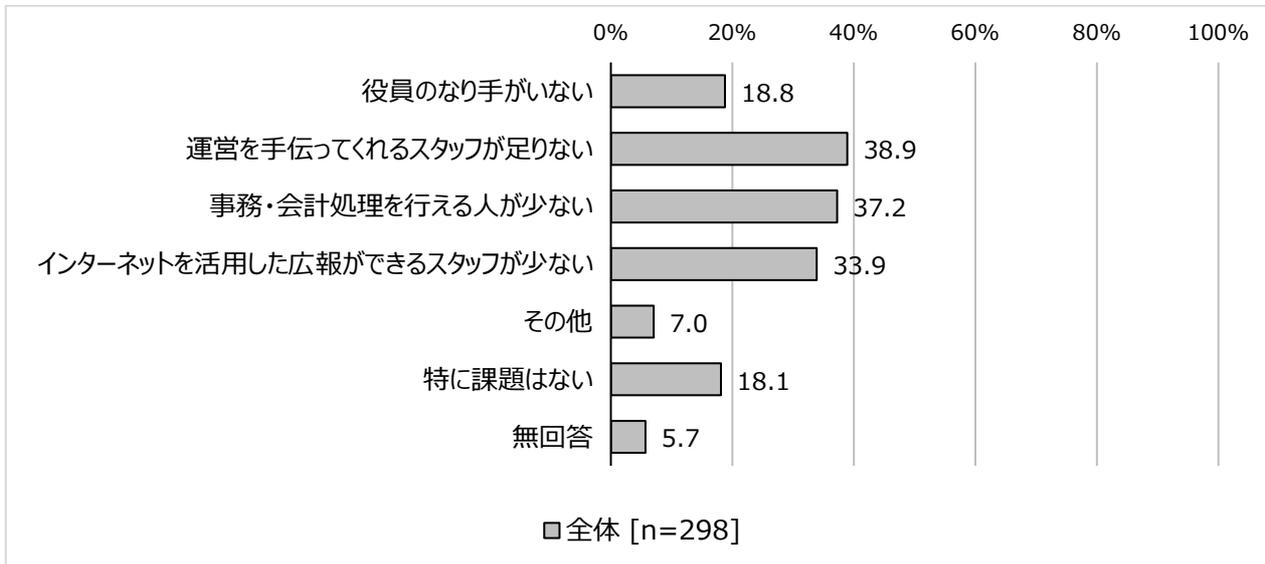
図表 25 コロナ禍での活動で苦労していること〔複数回答〕



### ③活動を進めていくための課題（人材面）（問 17①）

活動を進めていくための課題（人材面）は、「運営を手伝ってくれるスタッフが足りない」が38.9%と最も多く、次いで「事務・会計処理を行える人が少ない」が37.2%、「インターネットを活用した広報ができるスタッフが少ない」が33.9%などとなっている。

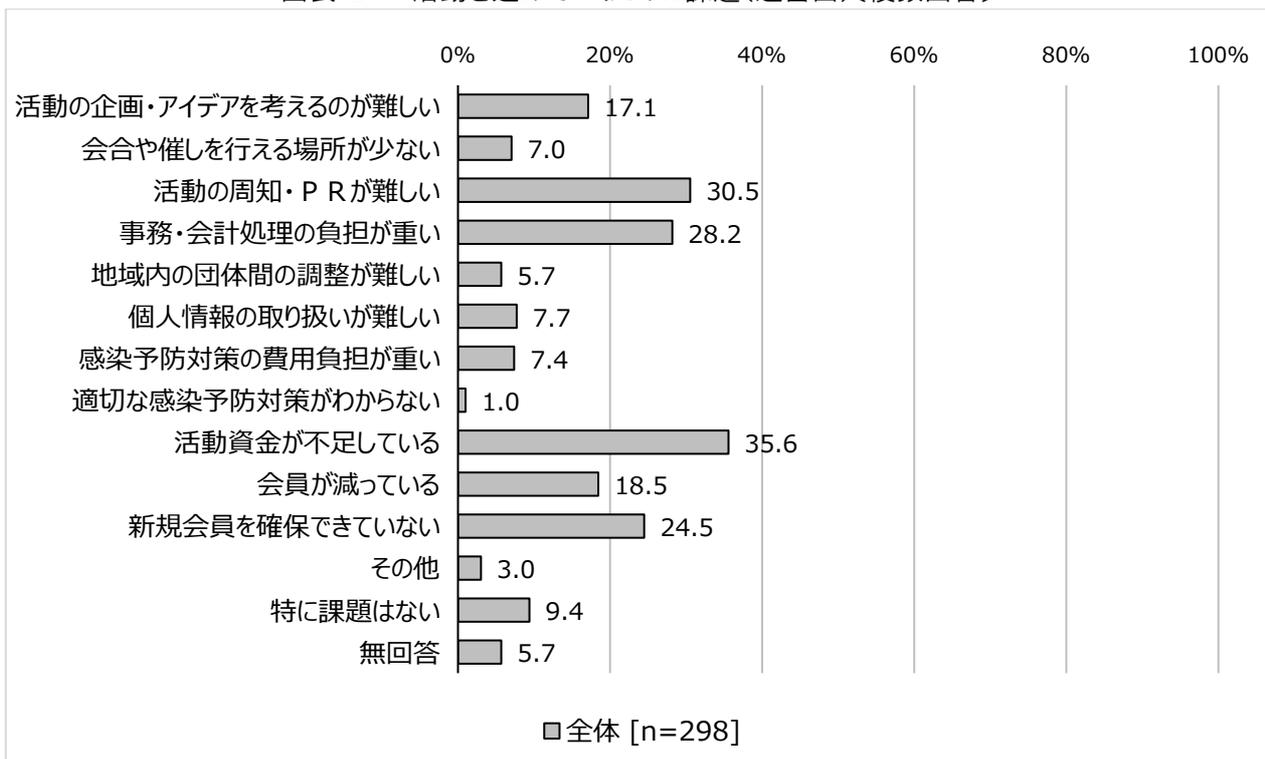
図表 26 活動を進めていくための課題（人材面）〔複数回答〕



### ④活動を進めていくための課題（運営面）（問 17②）

活動を進めていくための課題（運営面）は、「活動資金が不足している」が35.6%と最も多く、次いで「活動の周知・PRが難しい」が30.5%、「事務・会計処理の負担が重い」が28.2%などとなっている。

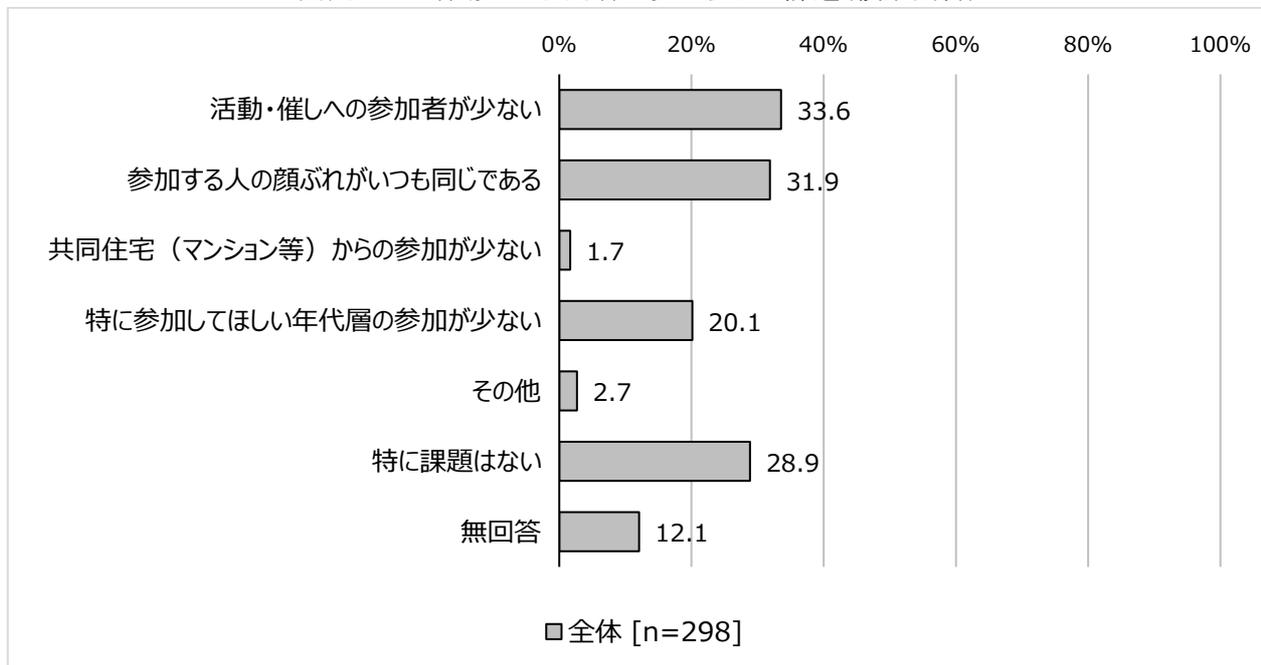
図表 27 活動を進めていくための課題（運営面）〔複数回答〕



### ⑤活動への利用者の参加状況の課題（問 17③）

活動への利用者の参加状況の課題は、「活動・催しへの参加者が少ない」が33.6%と最も多く、次いで「参加する人の顔ぶれがいつも同じである」が31.9%、「特に課題はない」が28.9%などとなっている。

図表 28 活動への利用者の参加状況の課題〔複数回答〕

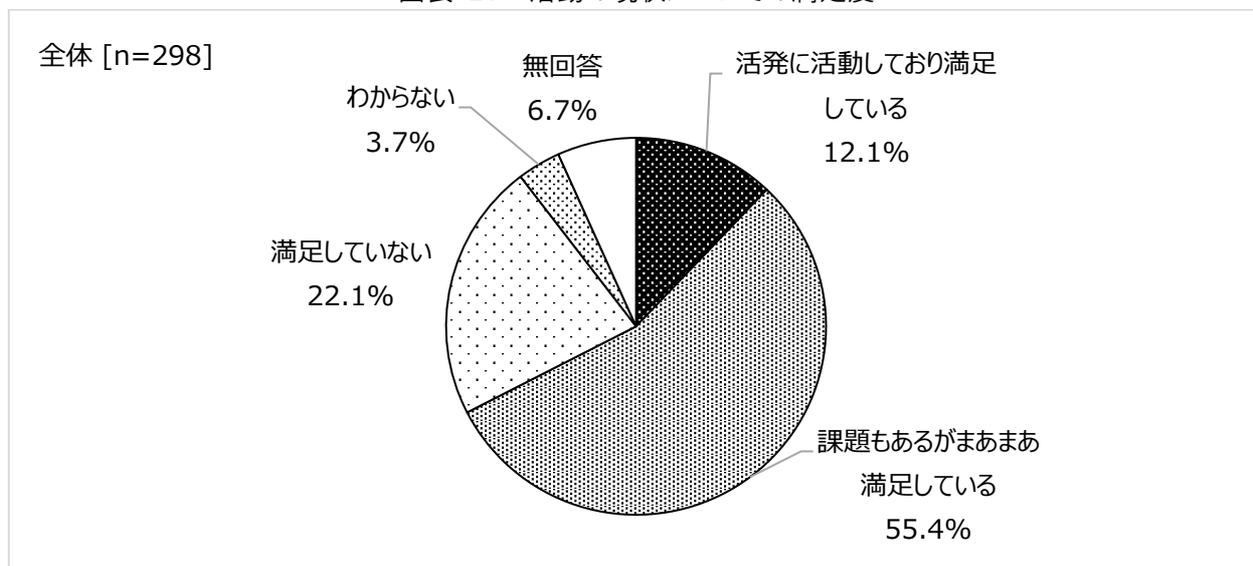


## (7) 今後の活動に向けて

### ①活動の現状についての満足度（問 22）

活動の現状についての満足度は、「課題もあるがまあまあ満足している」が55.4%と最も多く、次いで「満足していない」が22.1%、「活発に活動しており満足している」が12.1%などとなっている。

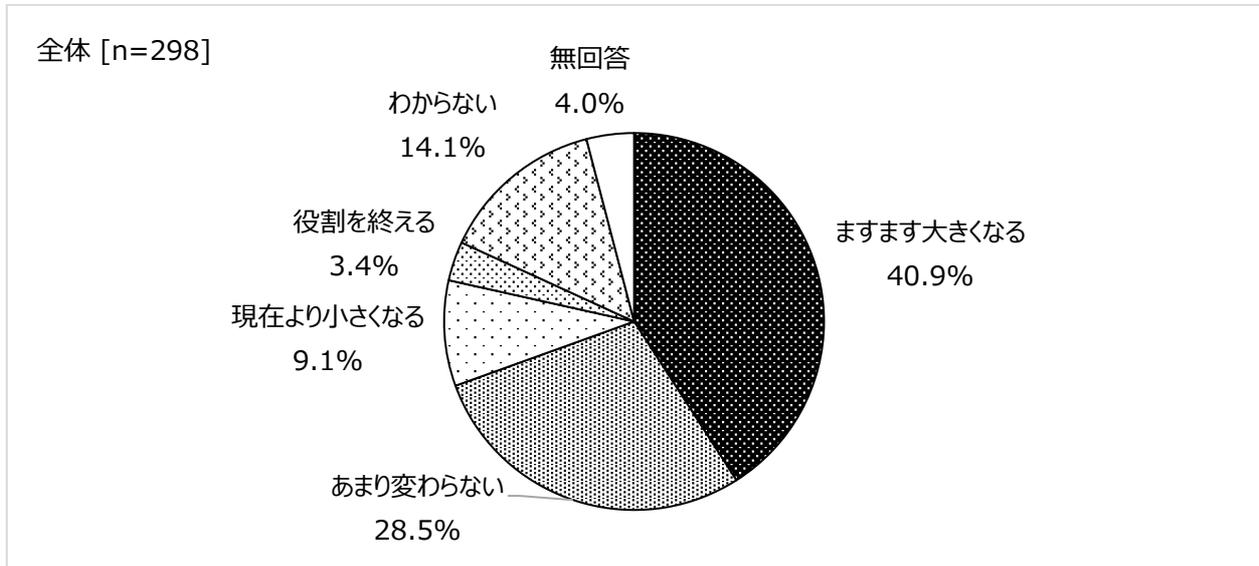
図表 29 活動の現状についての満足度



## ② 団体が担う役割の今後についての考え（問 23）

団体が担う役割の今後についての考えは、「ますます大きくなる」が40.9%と最も多く、次いで「あまり変わらない」が28.5%、「わからない」が14.1%などとなっている。

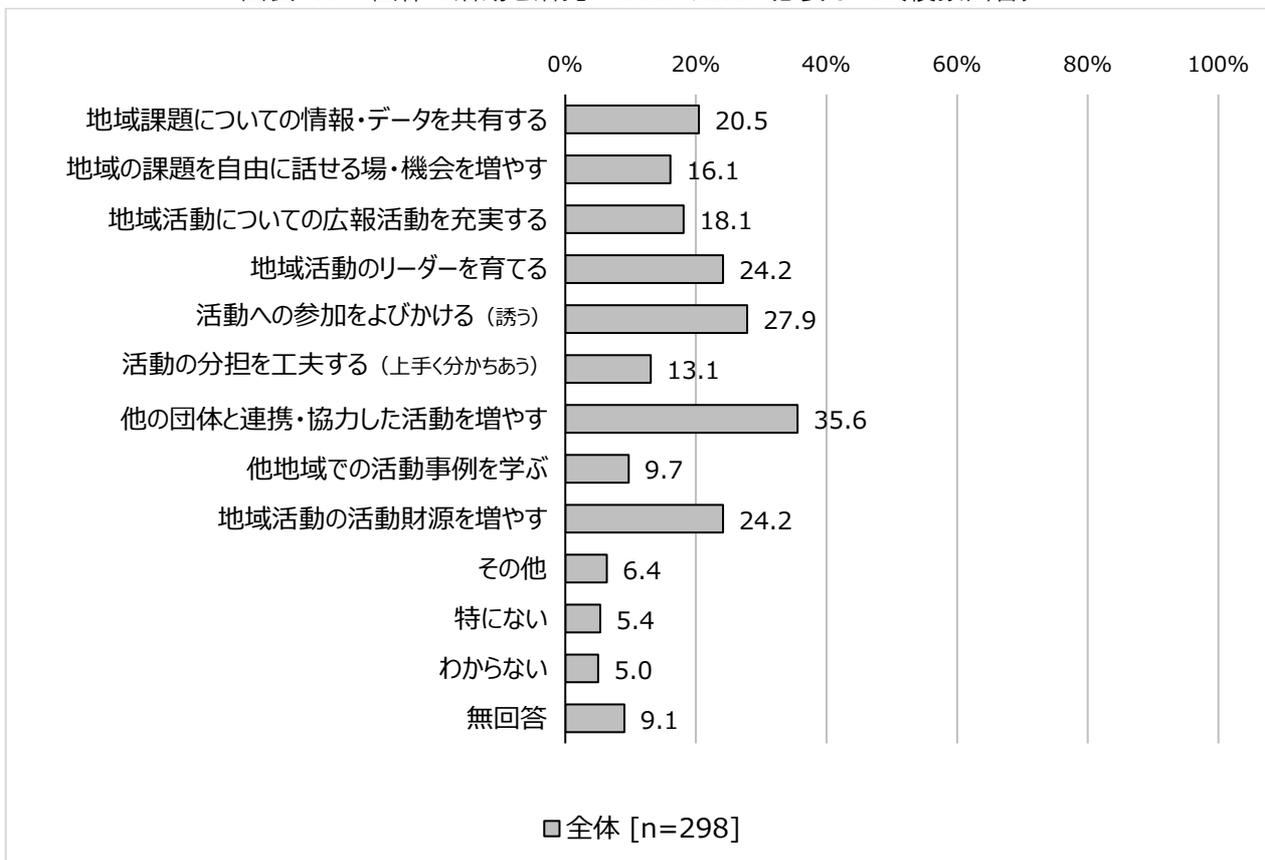
図表 30 団体が担う役割の今後についての考え



## ③ 団体の活動を活発にしていくために必要なこと（問 24）

団体の活動を活発にしていくために必要なことは、「他の団体と連携・協力した活動を増やす」が35.6%と最も多く、次いで「活動への参加をよびかける（誘う）」が27.9%、「地域活動のリーダーを育てる」と「地域活動の活動財源を増やす」が24.2%などとなっている。

図表 31 団体の活動を活発にしていくために必要なこと〔複数回答〕



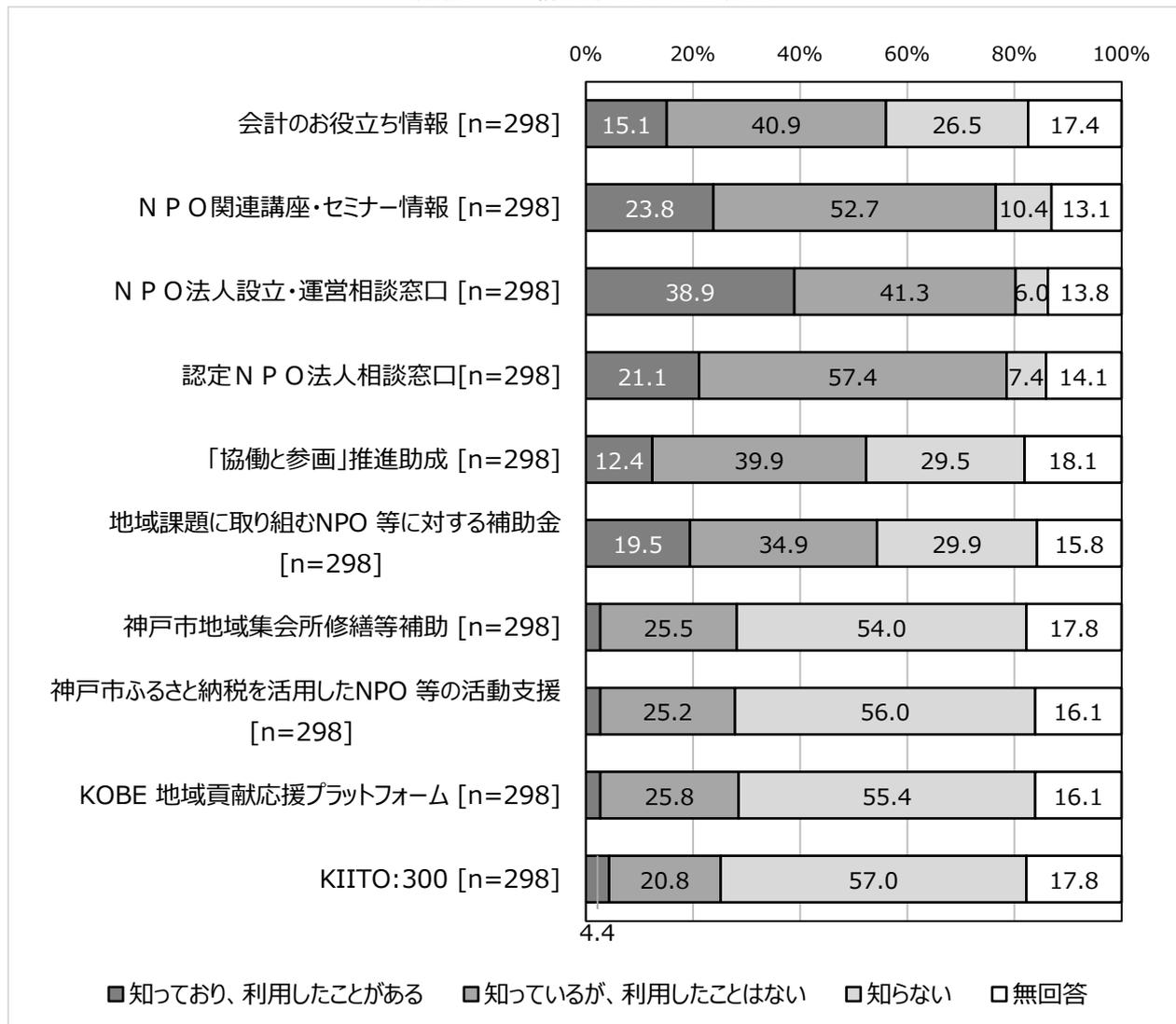
#### ④ NPO 支援に関わる神戸市の取り組みの認知状況や利用状況（問 26）

NPO支援に関わる神戸市の取り組みの認知状況や利用状況は、「知っており、利用したことがある」の割合が高いのは「NPO法人設立・運営相談窓口」の38.9%となっている。

「知っているが、利用したことはない」の割合が高いのは「認定NPO法人相談窓口」の57.4%となっている。

一方、「知らない」の割合が高いのは、「KIITO:300」や「神戸市ふるさと納税を活用したNPO等の活動支援」、「KOBE 地域貢献応援プラットフォーム」、「神戸市地域集会所修繕等補助」などで50%を上回っている。

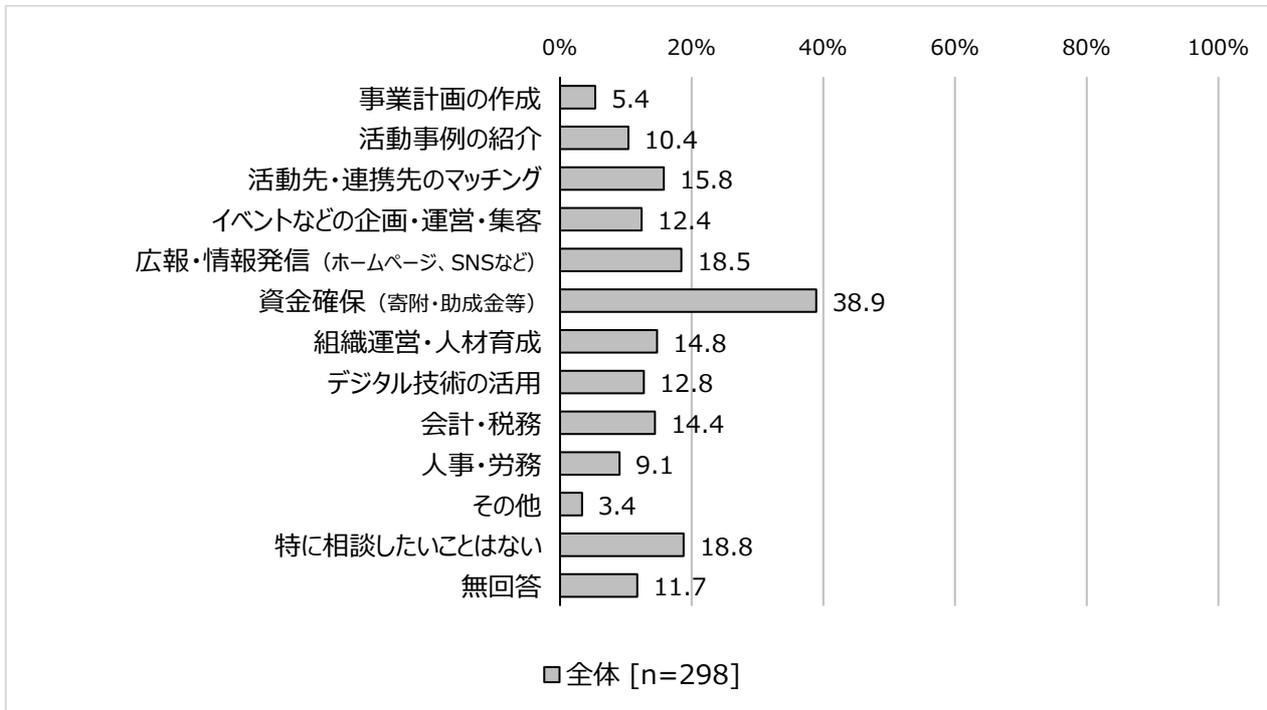
図表 32 認知状況や利用状況



### ⑤市に相談したいことや支援を希望すること（問 27）

市に相談したいことや支援を希望することは、「資金確保（寄附・助成金等）」が38.9%と最も多く、次いで「特に相談したいことはない」が18.8%、「広報・情報発信（ホームページ、SNSなど）」が18.5%などとなっている。

図表 33 市に相談したいことや支援を希望すること〔複数回答〕



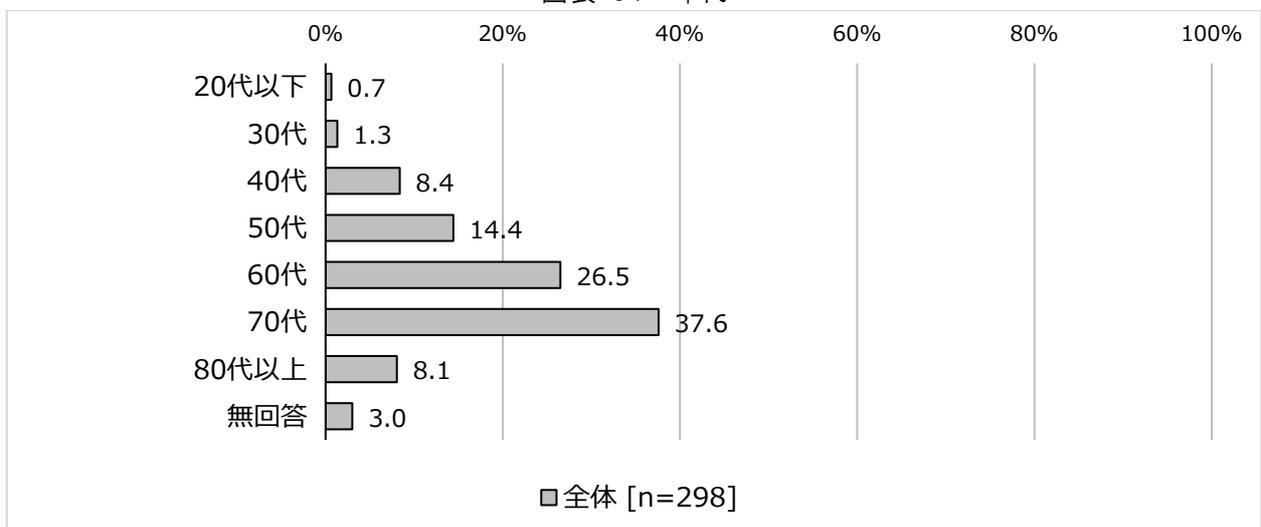
## (8) 代表の活動状況

### ①代表（回答者）の状況（問 34）

#### (7)年代

年代は、「70代」が37.6%と最も多く、次いで「60代」が26.5%、「50代」が14.4%などとなっている。

図表 34 年代



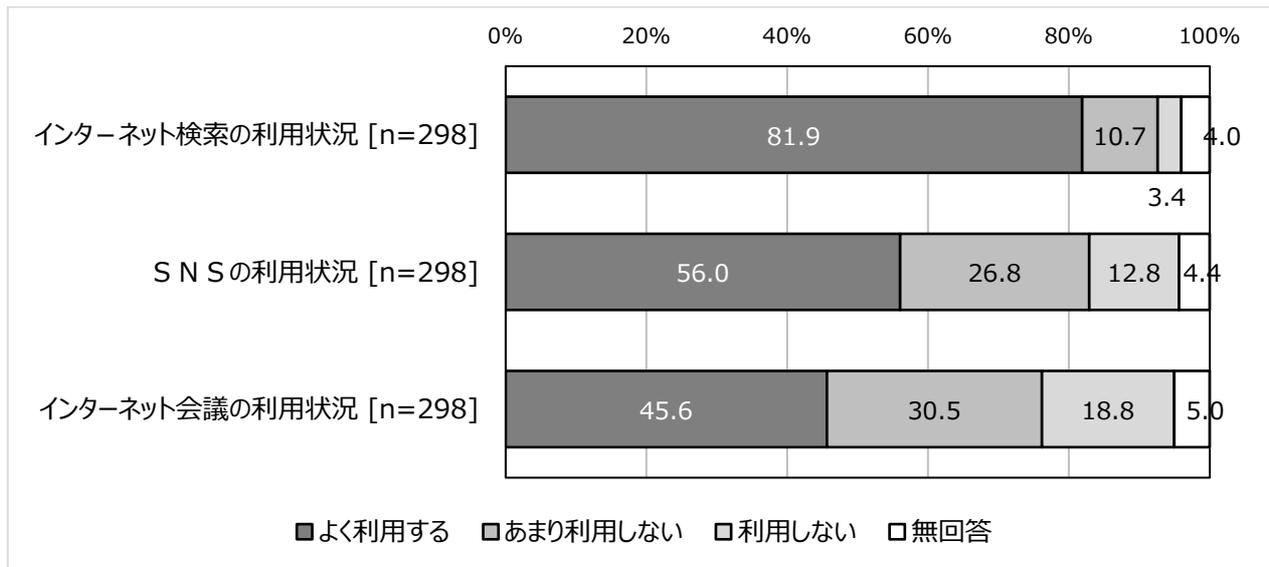
(4) インターネット等の利用状況

インターネット検索の利用状況は、「よく利用する」が81.9%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が10.7%、「利用しない」が3.4%となっている。

S N Sの利用状況は、「よく利用する」が56.0%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が26.8%、「利用しない」が12.8%となっている。

インターネット会議の利用状況は、「よく利用する」が45.6%と最も多く、次いで「あまり利用しない」が30.5%、「利用しない」が18.8%となっている。

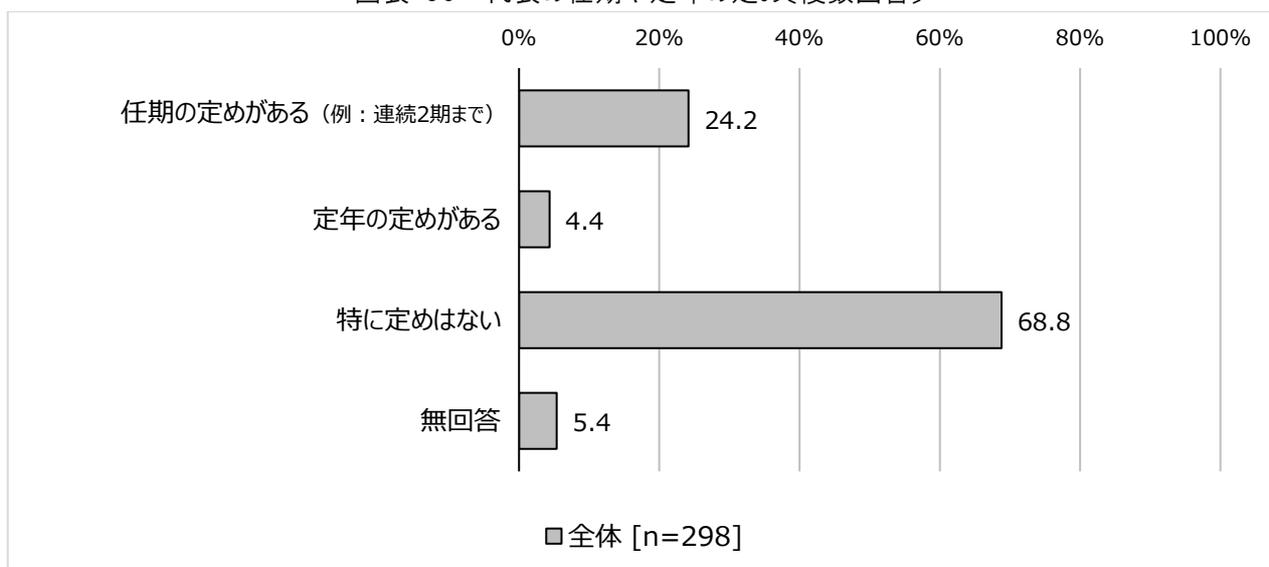
図表 35 インターネット等の利用状況



② 代表の任期や定年の定め（問 28）

代表の任期や定年の定めは、「特に定めはない」が68.8%と最も多く、次いで「任期の定めがある（例:連続2期まで）」が24.2%などとなっている。

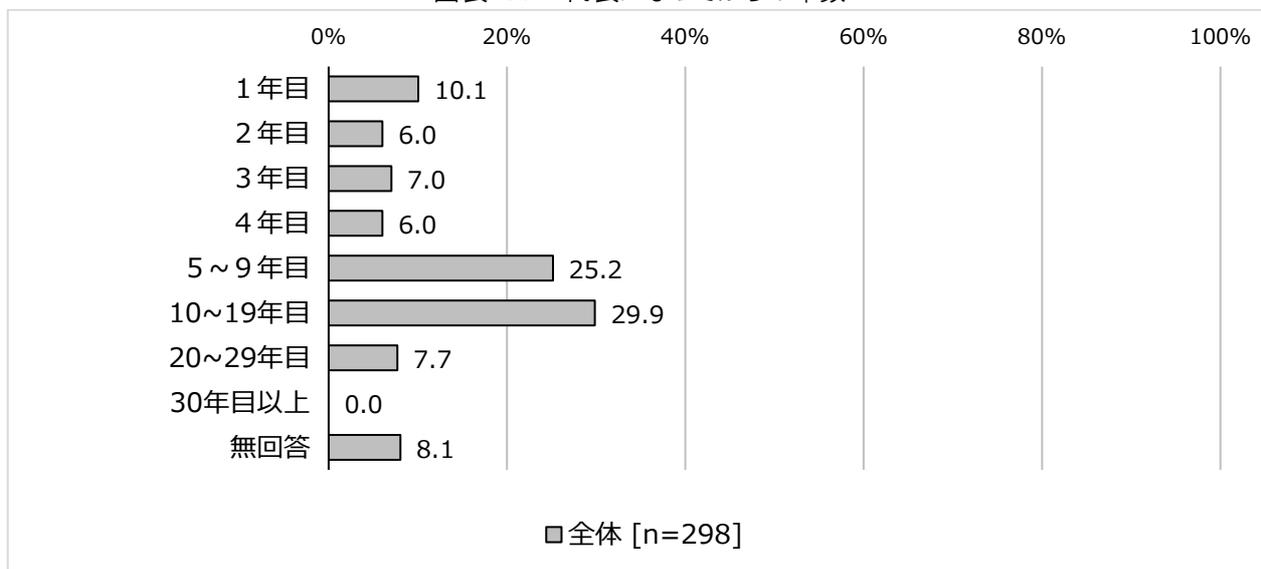
図表 36 代表の任期や定年の定め〔複数回答〕



### ③ 代表になってからの年数（問 29）

代表になってからの年数は、「10～19年目」が29.9%と最も多く、次いで「5～9年目」が25.2%、「1年目」が10.1%などとなっている。

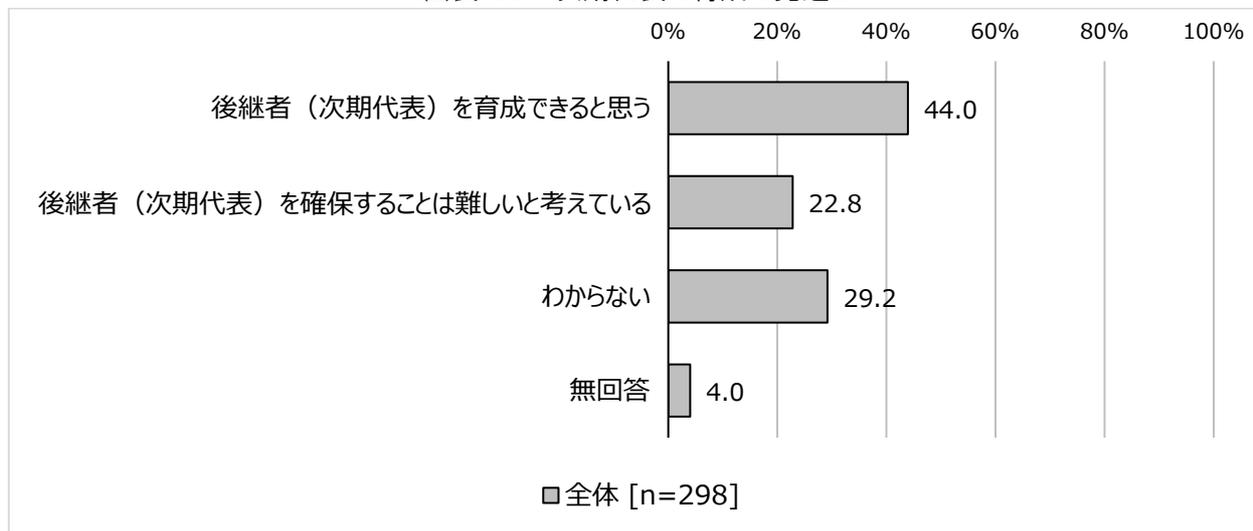
図表 37 代表になってからの年数



### ④ 次期代表の育成の見通し（問 30）

次期代表の育成の見通しは、「後継者（次期代表）を育成できると思う」が44.0%と最も多く、次いで「わからない」が29.2%、「後継者（次期代表）を育成することは難しいと考えている」が22.8%となっている。

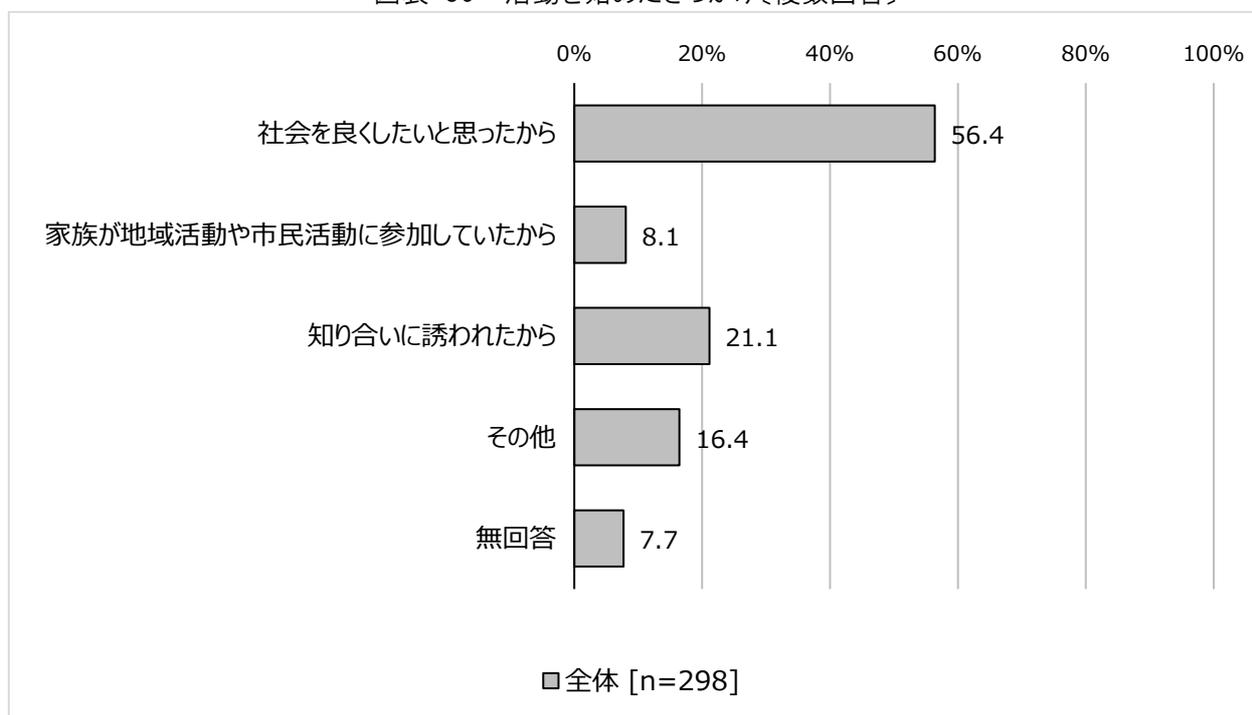
図表 38 次期代表の育成の見通し



### ⑤ 活動を始めたきっかけ（問 31）

活動を始めたきっかけは、「社会を良くしたいと思ったから」が56.4%と最も多く、次いで「知り合いに誘われたから」が21.1%、「その他」が16.4%などとなっている。

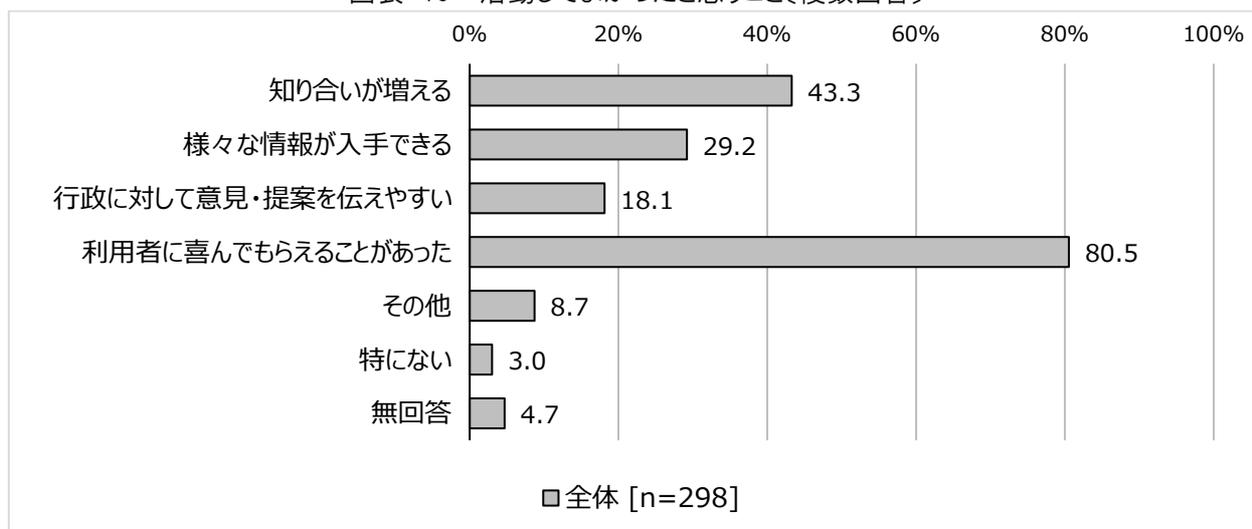
図表 39 活動を始めたきっかけ〔複数回答〕



### ⑥ 活動してよかったと思うこと（問 32）

活動してよかったと思うことは、「利用者に喜んでもらえることがあった」が80.5%と最も多く、次いで「知り合いが増える」が43.3%、「様々な情報が入手できる」が29.2%などとなっている。

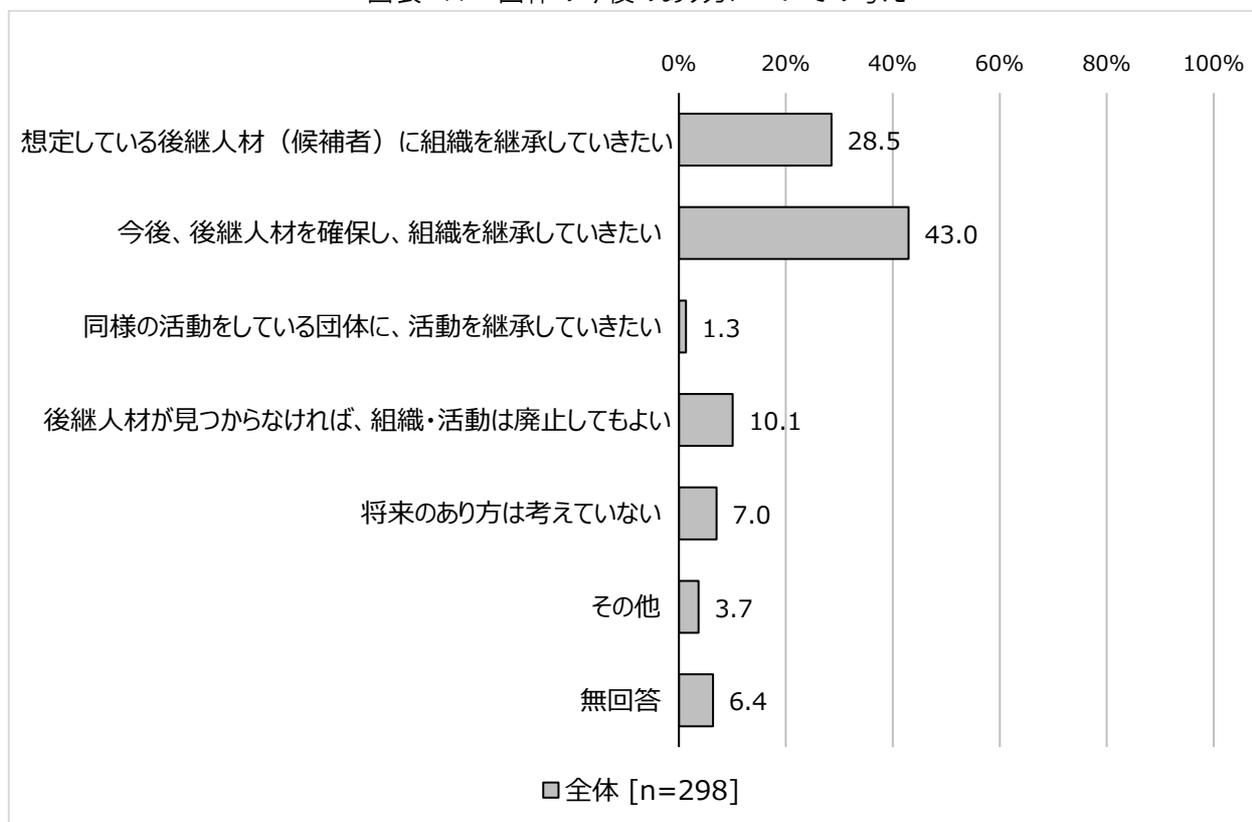
図表 40 活動してよかったと思うこと〔複数回答〕



### ⑦団体の今後のあり方についての考え(問 33)

団体の今後のあり方についての考えは、「今後、後継人材を確保し、組織を継承していきたい」が43.0%と最も多く、次いで「想定している後継人材(候補者)に組織を継承していきたい」が28.5%、「後継人材が見つからなければ、組織・活動は廃止してもよい」が10.1%などとなっている。

図表 41 団体の今後のあり方についての考え



## (9) 自由意見

### ①新たな活動者の確保や運営での工夫（問 25）

区分	主なご意見
企画	・子育て支援の活動内容を見直し、人気の高い内容に精選した。
活動	・補助金を活用してつけもの工房を作り、商品を販売した。 ・民泊に登録した。
体制確保	・ボランティア希望の方をスタッフとしてむかえ、ある程度まとまった時間、内容をお任せするようにしている。大学生インターンにも活動の中心的な部分に参加してもらっている。 ・オンラインとSNS、メール利用で会報作成などを遠方の仲間にお願ひできた。 ・定年退職者の男性に理事及び事務局として参画してもらったことにより、事務に関する業務（特に経理）に係わる時間が減った。 ・自然環境の保全活動に関心があり、体力と意欲のある人に協力をお願ひしている。 ・ハローワークと協力して高齢者（特に電気技術者）の参加を要請している。 ・学生スタッフを確保した。 ・後継者の育成に少しずつ取り組んでいる。
組織運営	・事業ごとの担当者会議を定例化し、話し合いながら進めた。 ・SNSで情報・連絡を共有している。 ・発注業務等のオンライン化や、店頭支払いでの電子マネーを導入した。
連携	・大学のゼミ等と協働した。
財源	・補助金を活用した。 ・助成金を活用した。 ・NPO法人となり、各種の助成金を受け易くなり、活動がやり易くなった。 ・大学の森の整備や簡易施設の維持管理で収入を確保している。
広報	・広報紙を全戸に配布した。 ・SNSを通じて行事を広報した。
その他	・会員確保（増加）のために一部会費を免除した。

### ②コロナ禍において新たに取り組んだこと（問 25）

区分	主なご意見
活動	・1回の参加人数を少なくし、密を回避した。 ・活動時間を半日に短縮した。 ・コロナ禍でも個別対応で実施できる場所と時間を設けた。 ・コロナ禍でも、活動を止めなかったことが信用になった。 ・コロナ禍で、急に生活困窮に陥った世帯への直接の食支援。 ・グループ活動を個別対応に変更した。 ・コロナ禍になり、高齢者の引きこもりが多くなったので、電話をかけたりして、センター行事にきてもらうようにした。 ・常設のコミュニティスペースを開設した。 ・屋外での活動に力を入れた。 ・屋外の活動を増やした。 ・オンラインでのイベントを企画した。 ・活動のオンライン化を進めたことにより、活動参加者が国内外から多く集まった。 ・ホームページの充実やテレビ電話を活用した。 ・会員間の情報共有に取り組んだ。

区分	主なご意見
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン会議を利用した。</li> <li>・オンラインの活用とクラウドを活用した情報共有をした。</li> <li>・ネットによる情報配信の取り組みをより充実させた。</li> <li>・コロナ感染の防止器具（ピンマイク、CO<sub>2</sub>計測器、体温計、フェイスシールド）を購入した。</li> <li>・コロナ検査実施を実施した。</li> <li>・消毒、検温をした。</li> <li>・民間、自治体等の助成金、補助金を活用した。</li> </ul>

# 調査票



# NPO法人 調査票

## 1. 貴団体の活動について

問1 貴団体の名称をお聞かせください。

問2 貴団体の主な活動分野をお聞かせください。（○印はいくつでも）

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 保健・医療・福祉</li> <li>2. 社会教育</li> <li>3. まちづくり</li> <li>4. 観光振興</li> <li>5. 農山漁村又は中山間地域の振興</li> <li>6. 学術・文化・芸術・スポーツの振興</li> <li>7. 環境保全</li> <li>8. 災害救援</li> <li>9. 地域安全</li> <li>10. 人権擁護・平和</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11. 国際協力</li> <li>12. 男女共同参画社会の形成促進</li> <li>13. 子どもの健全育成</li> <li>14. 情報化社会の発展</li> <li>15. 科学技術の振興</li> <li>16. 経済活動の活性化</li> <li>17. 職業能力の開発・雇用機会の拡充支援</li> <li>18. 消費者保護</li> <li>19. 市民活動団体の支援</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

（上記でお答えいただいた活動のうち、主な活動3つについて、具体的にお聞かせください。）

	活動分野 (上記の番号)	具体的な活動内容
例	13	子ども食堂
①		
②		
③		

問3 貴団体の主な活動地域をお聞かせください。（○印は1つ）

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 神戸市内の1つの区</li> <li>2. 神戸市内の複数区</li> <li>3. 神戸市内</li> <li>4. 神戸市内と日本国内</li> <li>5. 神戸市内と国内と海外</li> <li>6. その他（</li> </ul>	<p>→ 活動している行政区に○印をつけてください（○印はいくつでも）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. 東灘区</td> <td style="width: 33%;">4. 兵庫区</td> <td style="width: 33%;">7. 須磨区</td> </tr> <tr> <td>2. 灘区</td> <td>5. 北区</td> <td>8. 垂水区</td> </tr> <tr> <td>3. 中央区</td> <td>6. 長田区</td> <td>9. 西区</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">)</p>	1. 東灘区	4. 兵庫区	7. 須磨区	2. 灘区	5. 北区	8. 垂水区	3. 中央区	6. 長田区	9. 西区
1. 東灘区	4. 兵庫区	7. 須磨区								
2. 灘区	5. 北区	8. 垂水区								
3. 中央区	6. 長田区	9. 西区								

問4 貴団体の活動に携わっている人数をお聞かせください。(○印は1つ)

- |           |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 10人以下  | 4. 31~50人   | 7. 500~999人 |
| 2. 11~20人 | 5. 51~99人   | 8. 1,000人以上 |
| 3. 21~30人 | 6. 100~499人 | 9. その他 ( )  |

問5 貴団体の活動に携わっている人の年齢の特徴をお聞かせください。(○印は1つ)

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| 1. 幅広い年代の人がいる   | 4. 60歳代以上が多い |
| 2. 30歳未満が多い     | 5. その他 ( )   |
| 3. 30歳代~50歳代が多い | 6. わからない     |

問6 貴団体には事務局職員(スタッフ)がいますか。(○印はいくつでも)

- |              |               |        |
|--------------|---------------|--------|
| 1. いる(無償)    | 3. いる(雇用 非常勤) | 5. いない |
| 2. いる(謝礼金程度) | 4. いる(雇用 常勤)  |        |

問7 貴団体の主な収入源をお聞かせください。(○印はいくつでも)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1. 会費収入              | 6. 地域からの助成金 |
| 2. 寄附金・協賛金           | 7. 民間からの助成金 |
| 3. 事業収入(行政からの委託料を除く) | 8. その他 ( )  |
| 4. 行政からの委託料          | 9. 特に収入はない  |
| 5. 行政からの補助金・助成金      |             |

問8 貴団体の直近年度の決算の収益額の規模をお聞かせください。(○印は1つ)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 10万円未満         | 4. 100万円以上 500万円未満   |
| 2. 10万円以上 50万円未満  | 5. 500万円以上 1,000万円未満 |
| 3. 50万円以上 100万円未満 | 6. 1,000万円以上         |

問9 貴団体の活動頻度をお聞かせください。(○印は1つ)

- |           |              |
|-----------|--------------|
| 1. ほぼ毎日   | 5. 2か月に1回    |
| 2. 週に2~3回 | 6. 年に数回      |
| 3. 週に1回   | 7. その他 ( )   |
| 4. 月に1~2回 | 8. 現在活動していない |

**問10 貴団体の活動において、定期的に利用している市内の施設をお聞かせ下さい。（最大3施設まで）**

（対象となる施設・活動や記入方法の補足）

- ・同じ施設で、2か月に1回以上の頻度で開催している活動について記載してください。
- ・屋外（公園など）での活動は対象外とします。
- ・総会や役員会、イベントの準備・打合せなど、組織運営や準備に関わる活動は対象外とします。
- ・同じ施設で行っている活動が3つ以上ある場合は、参加人数が多いものを優先して記載してください。
- ・施設の所在地（住所）は、番地・建物名まで記入してください。
- ・月当たりの開催日数は、次を参考として記載してください。

毎日 ⇒ 31日 毎週1回 ⇒ 4日 毎月1回 ⇒ 1日 2か月に1回 ⇒ 0.5日

（記入例）

利用施設の名称①	●●会館		
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です） 神戸市 ●● 区 ●●通●—●—● ●●ビル●F		
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 ③ 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 10. その他		
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①	子育てサロン	1. どなたでも 2. 子ども ③ 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
②	ふれあい喫茶	① どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	4日/月
③	キッズ体操	1. どなたでも ② 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	1日/月

【回答欄（最大3施設まで）】

利用施設の名称①			
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入	（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です）		
施設の種別（○は1つ）	1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 10. その他		
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
②		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
③		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月

利用施設の名称②			
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入		（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です）	
施設の種別（○は1つ）		1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 （ ） 10. その他 （ ）	
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
②		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
③		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月

利用施設の名称③			
施設の所在地（住所） ※番地・建物名まで記入		（※地域福祉センターの場合は、住所記入不要です）	
施設の種別（○は1つ）		1. 貴団体の所有施設 2. 貴団体が長期に賃借している施設 3. 地域の他の団体の所有施設 4. 地域の共同住宅の会議室 5. 会員の個人宅 6. 民間の貸し会議室 7. 地域福祉センター 8. 学校施設（教室、講堂等） 9. その他の公共施設 （ ） 10. その他 （ ）	
	集まりの名称	主な利用対象	月回数
①		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
②		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月
③		1. どなたでも 2. 子ども 3. 親子 4. 高齢者 5. その他	日/月

問11 貴団体の活動において、今後、利用可能であれば新たに利用したいと考えておられる市内の施設があれば、お聞かせ下さい。(○印は1つ)

1. ある 2. ない → 問12へ(7ページ)

↓

「1. ある」の場合、下記にご記入ください。(最大5施設まで)

	施設の種別 (それぞれ○印は1つ)	具体的な施設名(または地域) がある場合は、ご記入ください。	考えておられる活動内容 (大まかな内容で結構です)
記入例	① 地域福祉センター 2. 地域団体の所有施設 (自治会館やマンションの集会所など) 3. 学校施設 (教室、講堂など) 4. 児童館 5. 上記以外の公的施設 (区文化センターなど) 6. その他の施設	(例1) ●●地域福祉センター  (例2) ●●区内の児童館  (例3) JR●●駅周辺の施設	こども食堂
①	1. 地域福祉センター 2. 地域団体の所有施設 (自治会館やマンションの集会所など) 3. 学校施設 (教室、講堂など) 4. 児童館 5. 上記以外の公的施設 (区文化センターなど) 6. その他の施設		
②	1. 地域福祉センター 2. 地域団体の所有施設 (自治会館やマンションの集会所など) 3. 学校施設 (教室、講堂など) 4. 児童館 5. 上記以外の公的施設 (区文化センターなど) 6. その他の施設		

	施設の種別 (それぞれ○印は1つ)	具体的な施設名 (または地域) がある場合は、ご記入ください。	考えておられる活動内容 (大まかな内容で結構です)
③	1. 地域福祉センター 2. 地域団体の所有施設 (自治会館やマンションの 集会所など) 3. 学校施設 (教室、講堂など) 4. 児童館 5. 上記以外の公的施設 (区文化センターなど) 6. その他の施設		
④	1. 地域福祉センター 2. 地域団体の所有施設 (自治会館やマンションの 集会所など) 3. 学校施設 (教室、講堂など) 4. 児童館 5. 上記以外の公的施設 (区文化センターなど) 6. その他の施設		
⑤	1. 地域福祉センター 2. 地域団体の所有施設 (自治会館やマンションの 集会所など) 3. 学校施設 (教室、講堂など) 4. 児童館 5. 上記以外の公的施設 (区文化センターなど) 6. その他の施設		

**問12 貴団体におけるコロナ禍による活動への影響をお聞かせください。(○印はいくつでも)**

- |                                |            |
|--------------------------------|------------|
| 1. 総会など必要な会合が開催できなかった          | 5. その他     |
| 2. 活動やイベントを中止、延期した             | ( )        |
| 3. 活動やイベントの規模を縮小して開催した         | 6. 特に影響はない |
| 4. 活動やイベント、会合の方法を変更した(オンラインなど) |            |

**問13 貴団体において、コロナ禍での活動で、現在苦労していることをお聞かせください。(○印はいくつでも)**

- |                                               |
|-----------------------------------------------|
| 1. 活動やイベント、会議の方法や形態を変更しなくてはならないこと             |
| 2. 活動やイベント、会議などの開催可否の決定                       |
| 3. 活動にあたっての感染拡大防止対策のためのスタッフの確保 (消毒作業、来場者の検温等) |
| 4. 活動にあたっての感染拡大防止対策のための消耗品・備品の確保 (消毒液、体温計等)   |
| 5. 活動やイベントにおける集客                              |
| 6. 活動やイベントの中止や規模縮小等による収入の減少 (参加費・利用料等)        |
| 7. 活動やイベント、会議などの活動場所の確保                       |
| 8. 活動やイベントを運営するためのスタッフの人数確保                   |
| 9. 活動やイベントを運営するためのスタッフと対面での打ち合わせの場が持ちにくいこと    |
| 10. その他 ( )                                   |
| 11. 特に苦労していることはない                             |

**問14 貴団体におけるデジタル技術の活用状況について、現在実施していることと、今後実施したいことをそれぞれお聞かせください。(○印はいくつでも)**

デジタル技術の活用方法	現在実施している	今後新たに実施したい
(記入例) スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS等の活用	①	1
①スタッフ間の連絡調整にあたっての電子メールやSNS <sup>※1</sup> 等の活用	1	1
②スタッフが参加する会議開催でのインターネット会議 <sup>※2</sup> の開催 (Zoom など)	2	2
③団体の情報を発信するためのホームページやSNSの開設・運用	3	3
④インターネットを活用した会員や参加者に対する事業の実施 (例：インターネット交流会、インターネット体操)	4	4
⑤市が設置した公衆 Wi-Fi 環境の活用	5	5
⑥会員や参加者のニーズや感想を把握するためのWEBアンケートの実施	6	6
⑦インターネットでの参加者の受付	7	7
⑧会費や利用料の徴収等にあたってのキャッシュレス決済の活用	8	8
⑨その他 ( )	9	9
⑩現在特に利用していない/今後新たに実施することはない	10	10

※1 SNS LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど

※2 インターネット会議 Zoom、Microsoft Teams、Google Meet など

問15 市からどのような支援があれば、デジタル技術の活用に取り組みやすいですか。(○印はいくつでも)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 団体活動に対応した活用マニュアルの提供 | 5. 機器購入費等の経費に対する補助   |
| 2. デジタル技術活用の講習会の開催     | 6. デジタル技術の活用事例の紹介    |
| 3. 操作方法等のなんでも相談窓口の開設   | 7. その他 ( )           |
| 4. インターネット回線等の環境整備への補助 | 8. デジタル技術を活用するつもりはない |

問16 貴団体では、次に挙げるような講習会が開催された際に参加してみたいですか。(○印はいくつでも)

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. パソコン、スマートフォン等の利用方法 | 6. 文書作成・表計算等のビジネスソフトの使い方 |
| 2. ホームページの作成方法        | 7. 画像・動画の編集ソフトの使い方       |
| 3. SNSの利用方法           | 8. 他の団体におけるICTの活用事例の紹介   |
| 4. インターネット会議の実施方法     | 9. その他 ( )               |
| 5. セキュリティ対策           | 10. 参加したい講習会はない          |

問17 貴団体の活動を進めるうえで課題として感じておられることをお聞かせください。

①人材面での課題 (○印は3つまで)

- |                        |                               |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 役員のなり手がいない          | 4. インターネットを活用した広報ができるスタッフが少ない |
| 2. 運営を手伝ってくれるスタッフが足りない | 5. その他 ( )                    |
| 3. 事務・会計処理を行える人が少ない    | 6. 特に課題はない                    |

②運営面での課題 (○印は3つまで)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 活動の企画・アイデアを考えるのが難しい | 8. 適切な感染予防対策がわからない |
| 2. 会合や催しを行える場所が少ない     | 9. 活動資金が不足している     |
| 3. 活動の周知・PRが難しい        | 10. 会員が減っている       |
| 4. 事務・会計処理の負担が重い       | 11. 新規会員を確保できていない  |
| 5. 地域内の団体間の調整が難しい      | 12. その他 ( )        |
| 6. 個人情報取り扱いが難しい        | 13. 特に課題はない        |
| 7. 感染予防対策の費用負担が重い      |                    |

③活動への利用者の参加状況での課題 (○印は3つまで)

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 活動・催しへの参加者が少ない        | 4. 特に参加してほしい年代層の参加が少ない |
| 2. 参加する人の顔ぶれがいつも同じである    | 5. その他 ( )             |
| 3. 共同住宅(マンション等)からの参加が少ない | 6. 特に課題はない             |

問18 貴団体は、他の団体と行事や情報交換などの連携をしていますか。既に連携している団体と、今後新たに連携したい団体を、それぞれお聞かせください。(○印はいくつでも)

連携先となる団体	既に連携している団体	新たに連携したい団体
(記入例) 自治会	1	①
①自治会	1	1
②婦人会	2	2
③ふれあいのまちづくり協議会 (小学校単位のまちづくり組織)	3	3
④まちづくり協議会 (特定エリアのまちづくり組織)	4	4
⑤防災福祉コミュニティ	5	5
⑥青少年育成協議会	6	6
⑦老人クラブ	7	7
⑧子ども会	8	8
⑨ P T A	9	9
⑩民生委員・児童委員	10	10
⑪社会福祉協議会、あんしんすこやかセンター、地域の福祉事業所	11	11
⑫小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校	12	12
⑬公民館、児童館等の公共施設	13	13
⑭他のN P O、ボランティア団体	14	14
⑮地域の企業・事業者・商店など	15	15
⑯既存の団体に参加していない個人	16	16
⑰その他 ( )	17	17
⑱現在特に連携していない/今後新たに連携する予定はない	18	18

問19 貴団体が、他の団体との連携にあたって発揮できる強みをお聞かせください。(○印はいくつでも)

1. 信用	5. イベント当日の運営スタッフの確保	9. 行政との連携
2. 広報・情報発信	6. 課題解決の専門知識・ノウハウ	10. その他
3. 集客	7. 他団体・有識者等とのネットワーク	( )
4. 活動の企画	8. 資金確保	11. 特に強みはない

問20 貴団体が、これまで他の団体と連携して取り組んだことの概要をお聞かせください。

	連携先	連携内容、発揮された強み (貴団体、連携先団体)
事例 1		
事例 2		
事例 3		

**問21 貴団体が、地域団体と、今後連携して取り組みたいことがあれば、アイデアをお聞かせください。**

	連携したい相手	連携して実現したいこと
連携 1		
連携 2		
連携 3		

**問22 あなたは、貴団体の活動の現状について、どのようにお考えですか。（○印は1つ）**

- |                     |            |
|---------------------|------------|
| 1. 活発に活動しており満足している  | 3. 満足していない |
| 2. 課題もあるがまあまあ満足している | 4. わからない   |

**問23 あなたは、貴団体が担う役割は今後どうなると思われますか。（○印は1つ）**

- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| 1. ますます大きくなる | 3. 現在より小さくなる | 5. わからない |
| 2. あまり変わらない  | 4. 役割を終える    |          |

**問24 貴団体の活動を活発にしていくために、必要なことをお聞かせください。（○印は3つまで）**

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 地域課題についての情報・データを共有する | 7. 他の団体と連携・協力した活動を増やす |
| 2. 地域の課題を自由に話せる場・機会を増やす | 8. 他地域での活動事例を学ぶ       |
| 3. 地域活動についての広報活動を充実する   | 9. 地域活動の活動財源を増やす      |
| 4. 地域活動のリーダーを育てる        | 10. その他（ ）            |
| 5. 活動への参加をよびかける（誘う）     | 11. 特にない              |
| 6. 活動の分担を工夫する（上手く分かち合う） | 12. わからない             |

**問25 新たな活動者の確保や、貴団体の活動の活発化や運営負担の軽減のために工夫されていること、コロナ禍において新たに取組まれたことをお聞かせください。**

--

問26 貴団体は、NPO支援に関わる、市の取り組みをご存知ですか。項目ごとに認知状況や利用状況をお聞かせください。（項目ごとに○印は1つずつ）

	神戸市の取り組み	知っており、利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない
(記入例)	会計のお役立ち情報(神戸市HP)	①	2	3
情報提供	①会計のお役立ち情報(神戸市HP)	1	2	3
	②NPO関連講座・セミナー情報(神戸市HP)	1	2	3
相談	③NPO法人設立・運営相談窓口	1	2	3
	④認定NPO法人相談窓口	1	2	3
助成・補助	⑤「協働と参画」推進助成	1	2	3
	⑥地域課題に取り組むNPO等に対する補助金	1	2	3
	⑦神戸市地域集会所修繕等補助(NPOも対象)	1	2	3
	⑧神戸市ふるさと納税を活用したNPO等の活動支援	1	2	3
マッチング	⑨KOBE地域貢献応援プラットフォーム(プロジェクトへの協力者を募集する仕組み)	1	2	3
その他	⑩KIITO:300(社会貢献支援拠点)	1	2	3

問27 貴団体が市に相談したいことや、支援を希望することをお聞かせください。（○印はいくつでも）

1. 事業計画の作成	7. 組織運営・人材育成
2. 活動事例の紹介	8. デジタル技術の活用
3. 活動先・連携先のマッチング	9. 会計・税務
4. イベントなどの企画・運営・集客	10. 人事・労務
5. 広報・情報発信(ホームページ、SNSなど)	11. その他( )
6. 資金確保(寄附・助成金等)	12. 特に相談したいことはない

## 2. あなたご自身の活動状況について

問28 貴団体では、代表の任期や定年の定めがありますか。（○印はいくつでも）

1. 任期の定めがある(例:連続2期まで)	2. 定年の定めがある	3. 特に定めはない
-----------------------	-------------	------------

問29 あなたが、代表になってからの年数をお聞かせください。（令和4年10月1日時点）

約( )年( )か月
------------

問30 貴団体での次期代表の育成について、見通しをお聞かせください。(○印は1つ)

- |                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 1. 後継者(次期代表)を育成できると思う         | 3. わからない |
| 2. 後継者(次期代表)を育成することは難しいと考えている |          |

問31 あなたが、活動を始めたきっかけをお聞かせください。(○印はいくつでも)

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 社会を良くしたいと思ったから        | 3. 知り合いに誘われたから |
| 2. 家族が地域活動や市民活動に参加していたから | 4. その他( )      |

問32 あなたが、活動してよかったと思うことをお聞かせください。(○印は3つまで)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 知り合いが増える          | 4. 利用者に喜んでもらえることがあった |
| 2. 様々な情報が入手できる       | 5. その他( )            |
| 3. 行政に対して意見・提案を伝えやすい | 6. 特にない              |

問33 貴団体の今後のあり方について、あなたのお考えをお聞かせください。(○印は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 想定している後継人材(候補者)に組織を継承していきたい |
| 2. 今後、後継人材を確保し、組織を継承していきたい     |
| 3. 同様の活動をしている団体に、活動を継承していきたい   |
| 4. 後継人材が見つからなければ、組織・活動は廃止してもよい |
| 5. 将来のあり方は考えていない               |
| 6. その他( )                      |

### 3. あなたご自身のことについて

問34 あなたご自身のことについてお聞かせください。(それぞれ○印は1つ)

①年代	1. 20代以下	3. 40代	5. 60代	7. 80代以上
	2. 30代	4. 50代	6. 70代	
②インターネット検索	1. よく利用する	2. あまり利用しない	3. 利用しない	
③SNSの利用 ※1	1. よく利用する	2. あまり利用しない	3. 利用しない	
④インターネット会議 ※2	1. よく利用する	2. あまり利用しない	3. 利用しない	

※1 SNS LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなど

※2 インターネット会議 Zoom、Microsoft Teams、Google Meet など

ご協力ありがとうございました。

**11月11日(金)**までにお近くのポストに投函してください(切手不要)

■令和4年度 神戸市内地域組織基礎調査

NPO法人 調査結果報告書

(連絡先)

神戸市地域協働局地域活性課 (地域コミュニティ担当)

電話 : 078-322-5170 (内線 2262) FAX : 078-322-6133

電子メール [community@office.city.kobe.lg.jp](mailto:community@office.city.kobe.lg.jp)

(調査委託先) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社